

5. メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

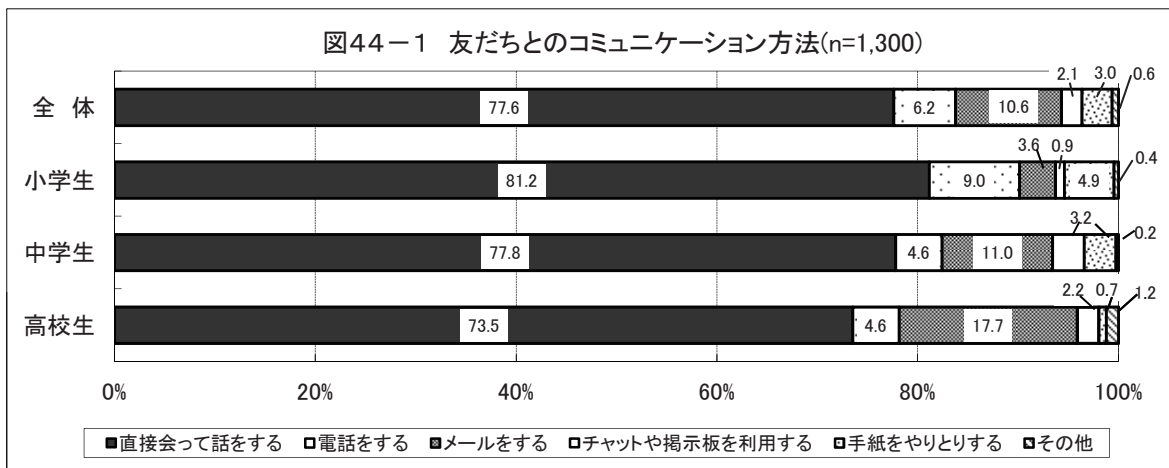
問17 あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報を伝えることなど)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が77.6%で最も高く、以下、「メールをする」(10.6%)、「電話をする」(6.2%)などとなっている。

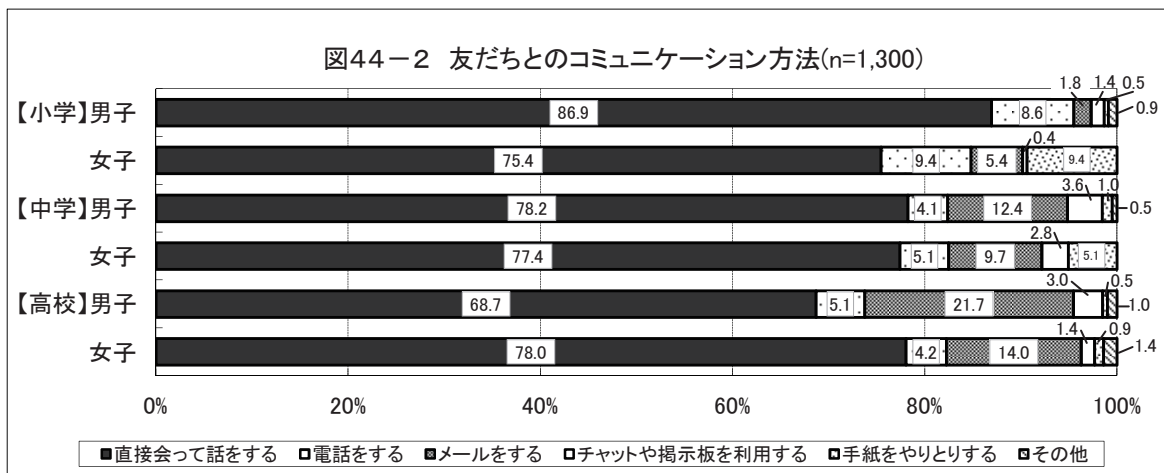
【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が81.2%で最も高く、以下、「電話をする」(9.0%)、「手紙をやりとりする」(4.9%)などとなっている。
 中学生では、「直接会って話をする」が77.8%で最も高く、以下、「メールをする」(11.0%)、「電話をする」(4.6%)などとなっている。
 高校生では、「直接会って話をする」が73.5%で最も高く、以下、「メールをする」(17.7%)、「電話をする」(4.6%)などとなっている。



【属性別集計結果】

「メールをする」を見てみると、高校生男子が21.7%で最も高く、以下高校生女子(14.0%)、中学男子(12.4%)となっている。



< 携帯電話・スマートフォンの所有状況 >

問18 携帯電話・スマートフォンについてお聞きします。

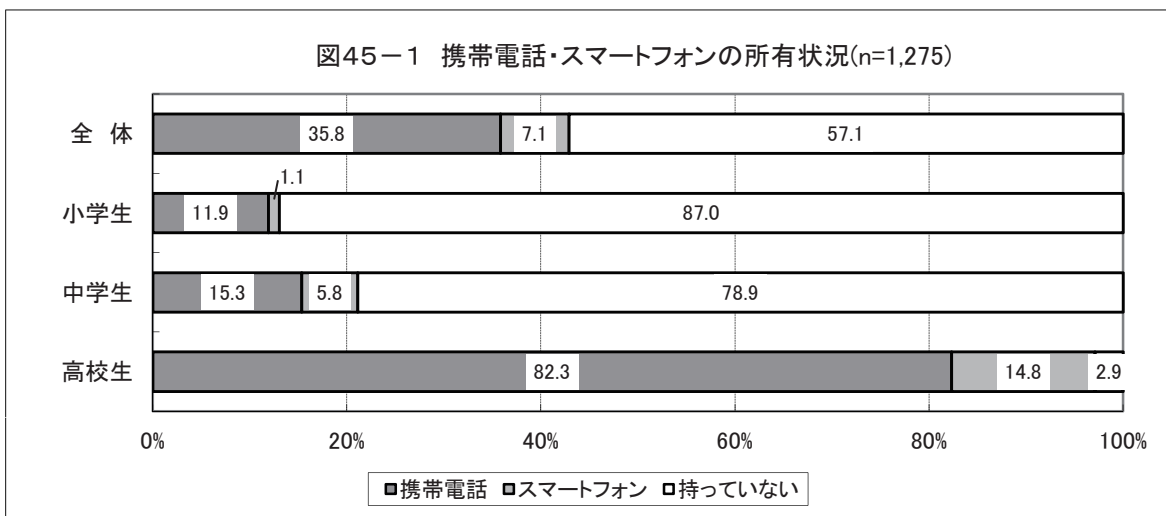
(1)	あなたが現在、自分専用で持っているものはどちらですか。(携帯電話、スマートフォンの両方を持っている人は、1と2の両方を選んでください。)
-----	--

【全体集計結果】

現在、自分専用で持っているものはどちらか(携帯電話・スマートフォン)を尋ねたところ、「携帯電話を持っている」が35.8%、「スマートフォンを持っている」が7.1%、「持っていない」が57.1%となっている。

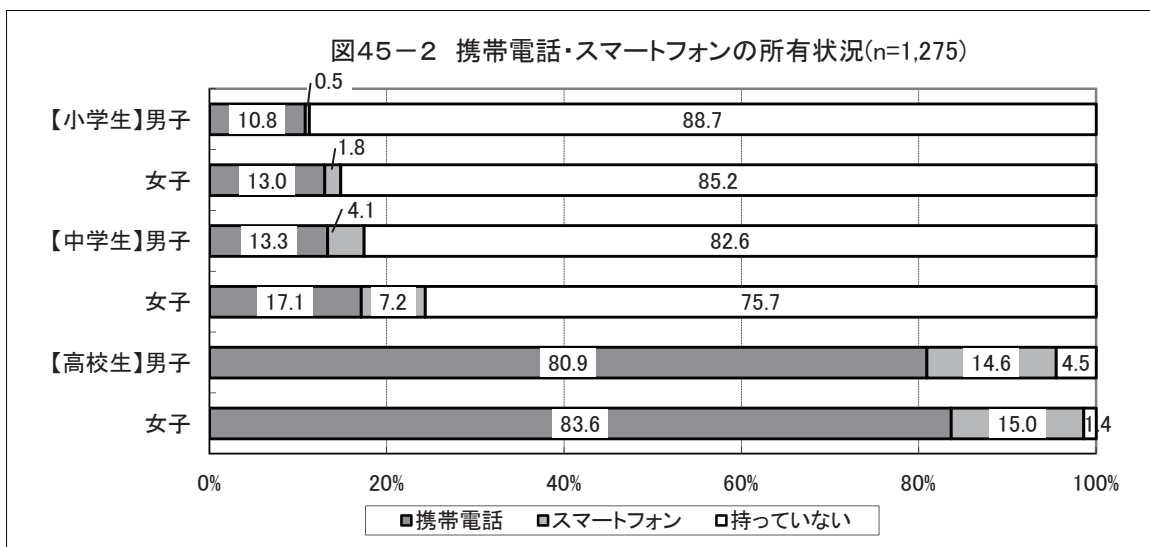
【学校種別集計結果】

携帯電話・スマートフォンの所有率が最も高いのは、高校生の97.1%で、以下、中学生(21.1%)、小学生(13.0%)となっている。



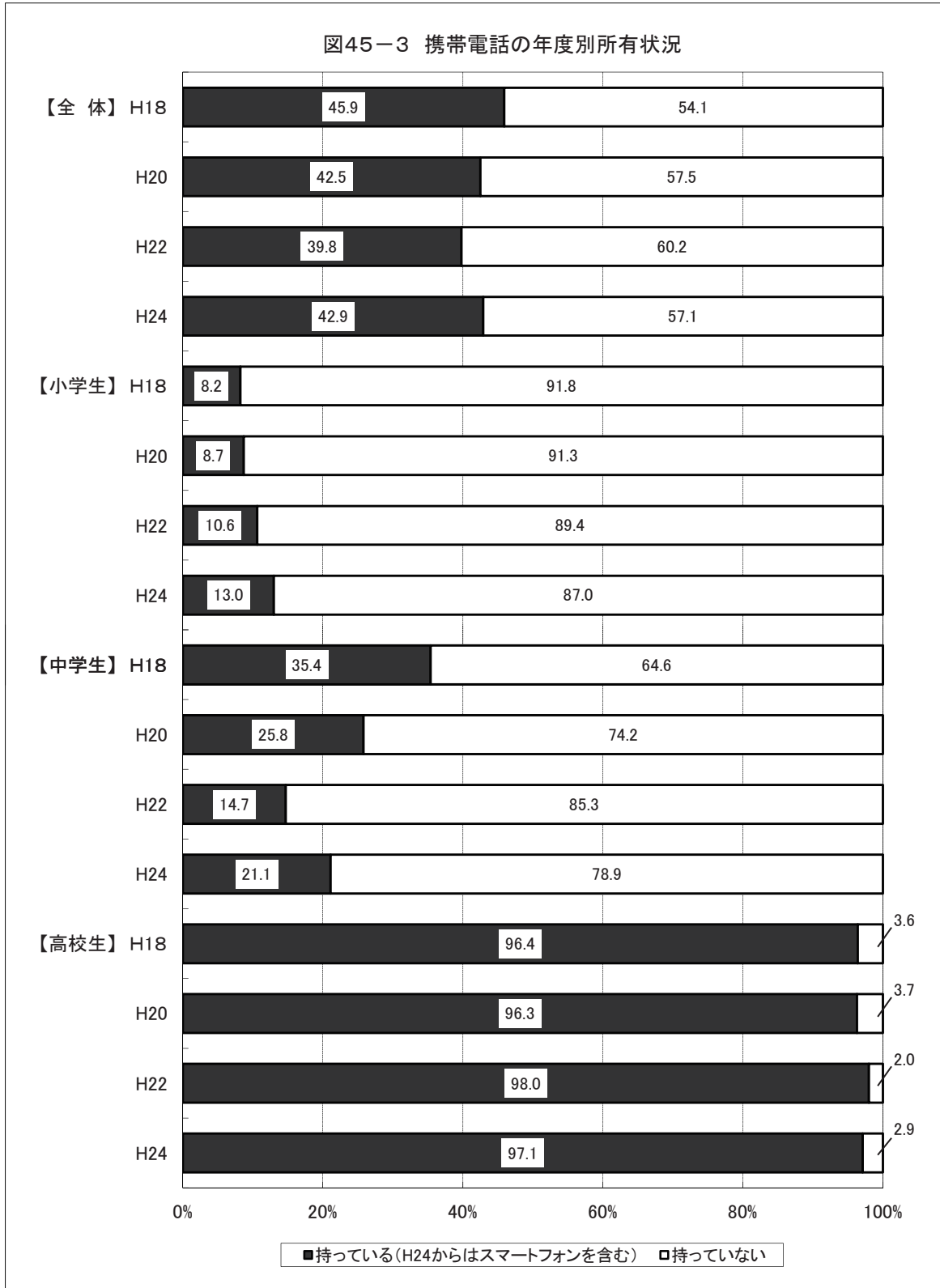
【属性別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも所有率が高い。スマートフォンの所有状況を見ると、高校生の女子が15.0%で最も高い。



【時系列比較(平成18年度・20年度・22年度調査と24年度調査との調査比較)】

22年度の所有率と比較すると、全体では3.1ポイント増加している。学校種別に所有率を見てみると、小学生では2.4ポイント、中学校では6.4ポイント増加している一方で、高校生では0.9ポイント減少している。



< 携帯電話・スマートフォンの使用目的 >

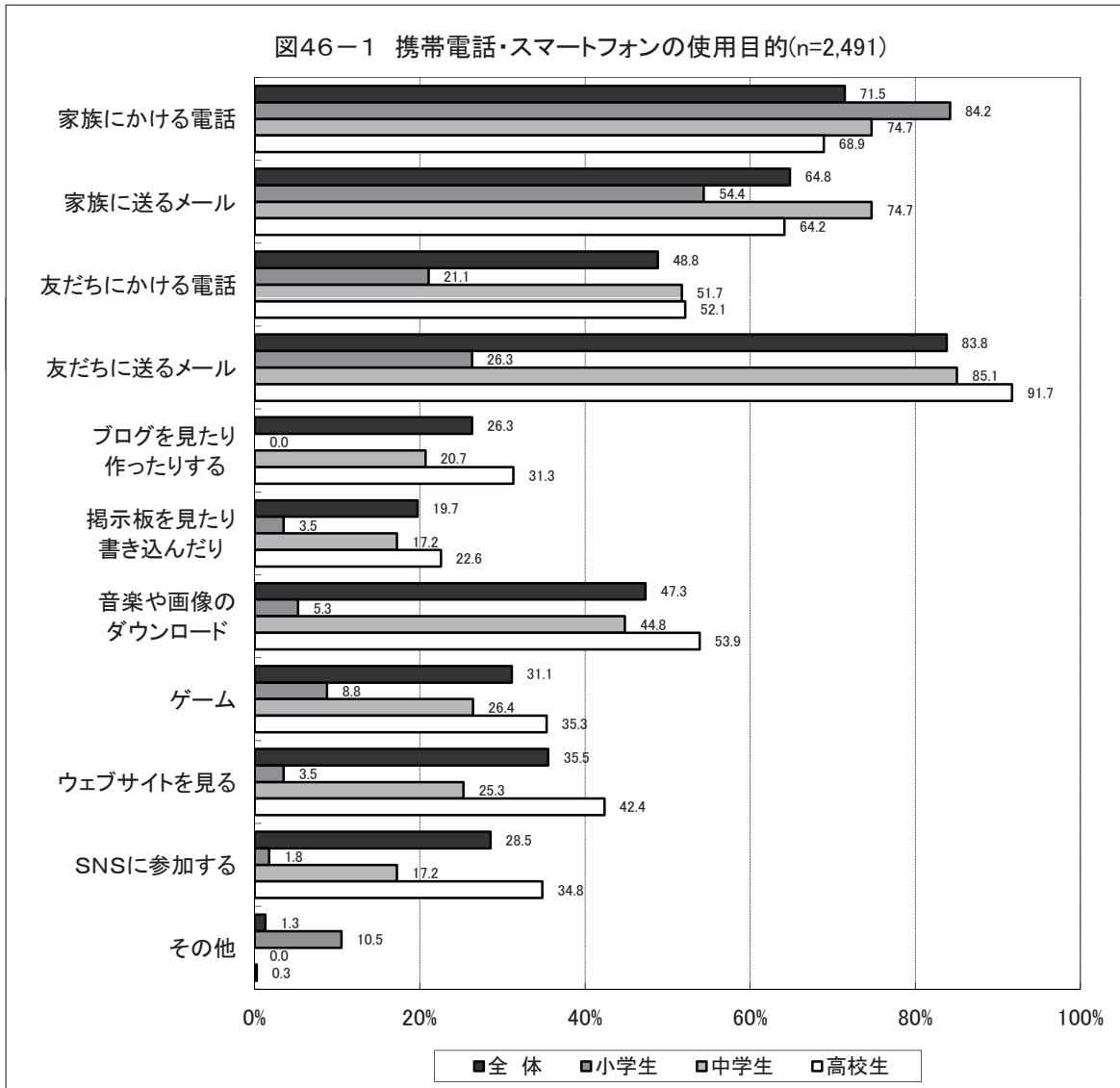
(2) (1)で1, 2を選んだ人にお聞きします。
 あなたは、携帯電話やスマートフォンをどのような目的で使うことが多いですか。
 あてはまるものを、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話・スマートフォンの使用目的を尋ねたところ、「友だちに送るメール」が83.8%で最も高く、以下、「家族にかける電話」(71.5%)、「家族に送るメール」(64.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「家族にかける電話」(84.2%)、「家族に送るメール」(54.4%)、「友だち送るメール」(26.3%)が上位を占めている。
 中学生では、「友だちに送るメール」(85.1%)、「家族にかける電話」(74.7%)、「家族に送るメール」(74.7%)が上位を占めている。
 高校生では、「友だちに送るメール」(91.7%)、「家族にかける電話」(68.9%)、「家族に送るメール」(64.2%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学生男子〉

- 「家族にかける電話」(83.3%)
- 「家族に送るメール」(41.7%)
- 「その他」(12.5%)

〈小学生女子〉

- 「家族にかける電話」(84.8%)
- 「家族に送るメール」(63.6%)
- 「友だちに送るメール」(45.5%)

〈中学生男子〉

- 「家族にかける電話」(78.8%)
- 「友だちに送るメール」(75.8%)
- 「家族に送るメール」(72.7%)

〈中学生女子〉

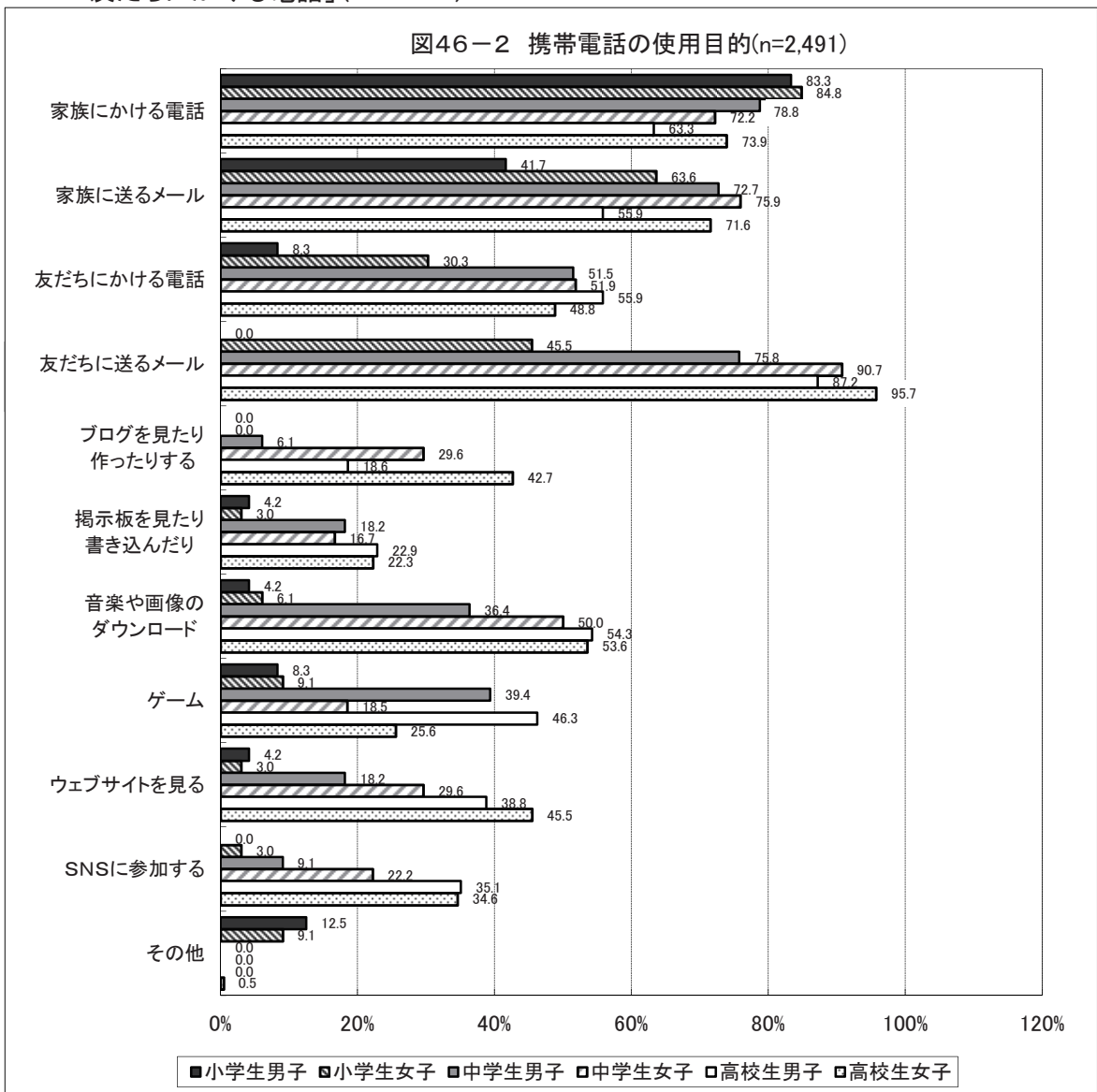
- 「友だちに送るメール」(90.7%)
- 「家族に送るメール」(75.9%)
- 「家族にかける電話」(72.2%)

〈高校生男子〉

- 「友だちに送るメール」(87.2%)
- 「家族にかける電話」(63.3%)
- 「家族に送るメール」(55.9%)
- 「友だちにかける電話」(55.9%)

〈高校生女子〉

- 「友だちに送るメール」(95.7%)
- 「家族にかける電話」(73.9%)
- 「家族に送るメール」(71.6%)



< SNSの使用目的 >

(3) (2)で「SNSに参加する」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

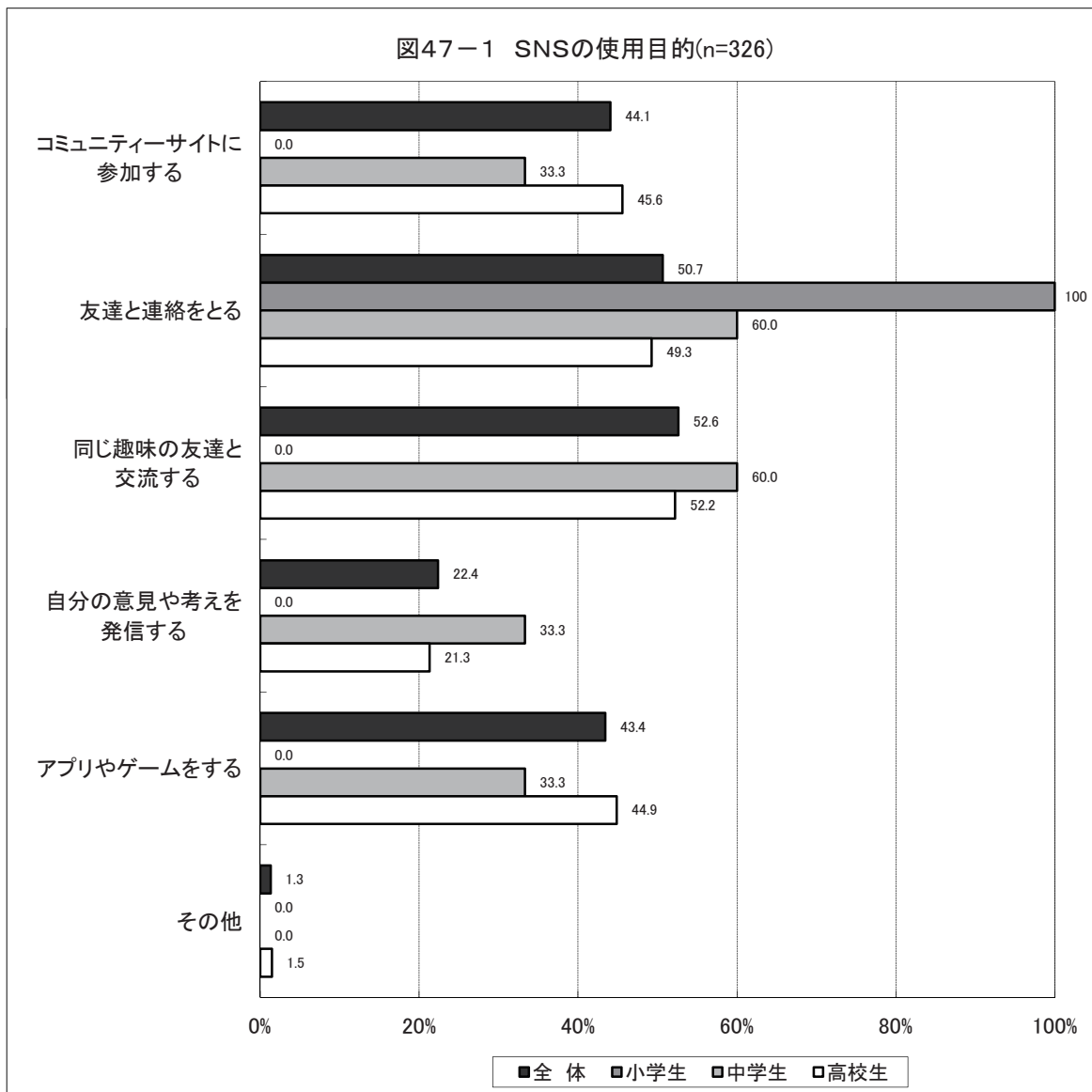
SNSの使用目的を尋ねたところ、「同じ趣味の友達と交流する」が52.6%で最も高く、以下、「友達と連絡をとる」(50.7%)、「コミュニティーサイトに参加する」(44.1%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「友達と連絡をとる」(100%)となっている。

中学生では、「友達と連絡をとる」、「同じ趣味の友達と交流する」、「コミュニティーサイトに参加する」、「自分の意見や考えを発信する」、「アプリやゲームをする」(33.3%)となっている。

高校生では、「同じ趣味の友達と交流する」(52.2%)、「友達と連絡をとる」(49.3%)、「コミュニティーサイトに参加する」(45.6%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学生男子〉

なし

〈中学生男子〉

「コミュニティサイトに参加する」(33.3%)

「友達と連絡をとる」(33.3%)

「同じ趣味の友達と交流する」(33.3%)

「アプリやゲームをする」(33.3%)

〈高校生男子〉

「アプリやゲームをする」(56.3%)

「友達と連絡をとる」(54.7%)

「同じ趣味の友達と交流する」(48.4%)

〈小学生女子〉

「友達と連絡をとる」(100%)

〈中学生女子〉

「友達と連絡をとる」(66.7%)

「同じ趣味の友達と交流する」(66.7%)

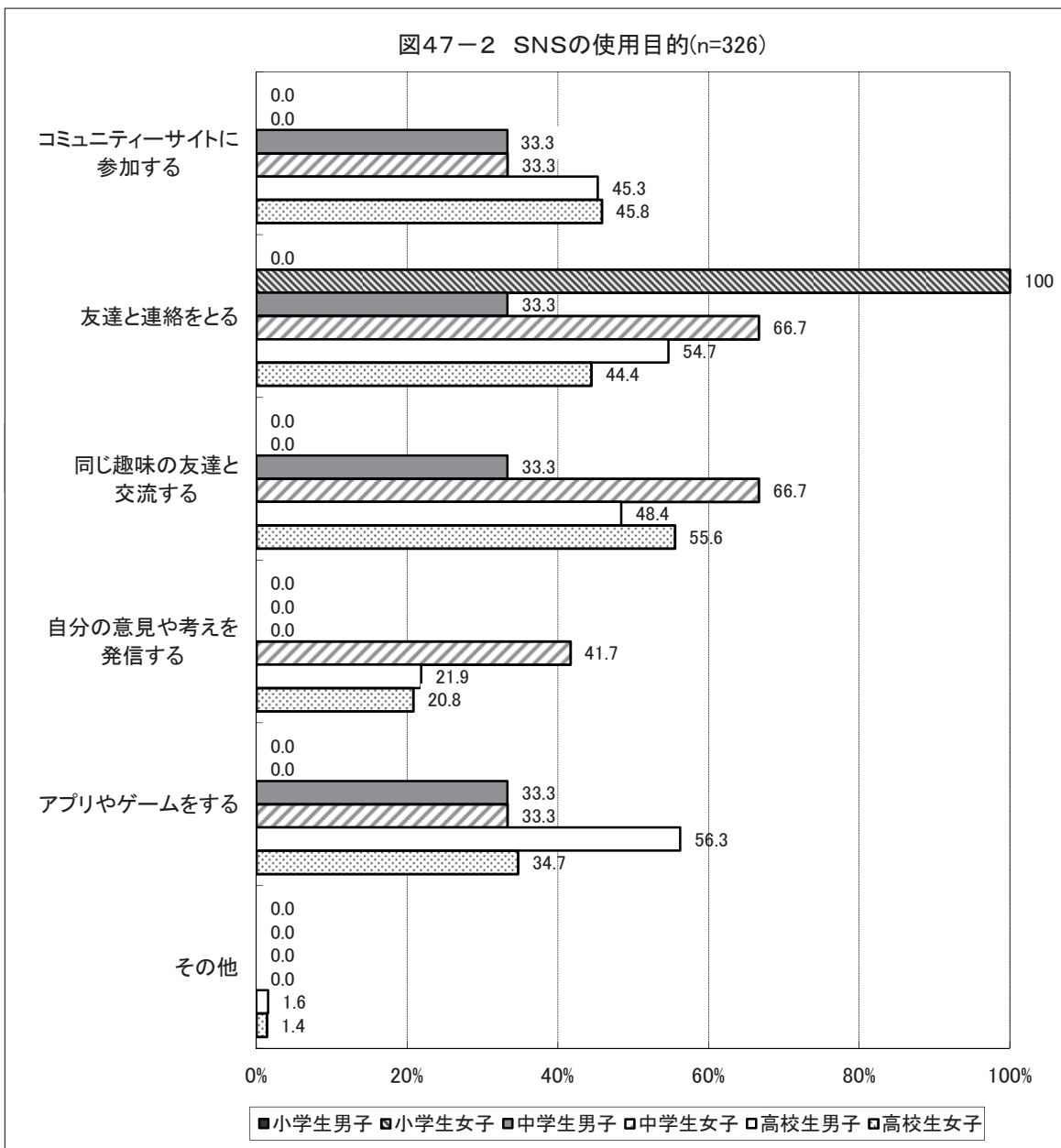
「自分の意見や考えを発信する」(41.7%)

〈高校生女子〉

「同じ趣味の友達と交流する」(55.6%)

「コミュニティサイトに参加する」(45.8%)

「友達と連絡をとる」(44.4%)



< 携帯電話・スマートフォンの使用時間 >

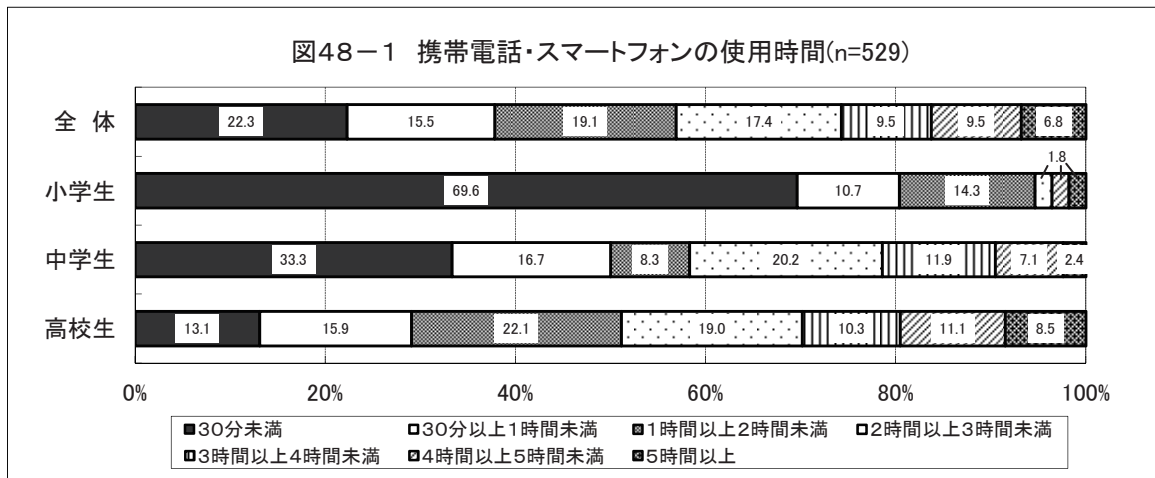
(4) (1)で1, 2を選んだ人にお聞きします。あなたは、携帯電話やスマートフォンを一日にどのくらい使用していますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話・スマートフォンの使用時間を尋ねたところ、「30分未満」が22.3%で最も高く、以下、「1時間以上2時間未満」(19.1%)、「2時間以上3時間未満」(17.4%)などとなっている。

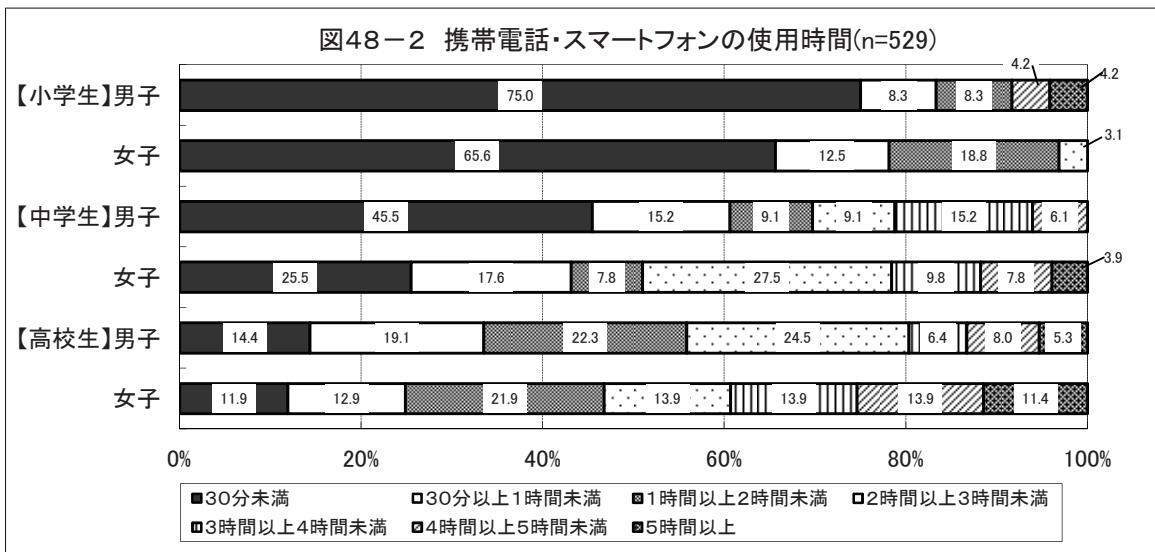
【学校種別集計結果】

学校種別に携帯電話・スマートフォンの使用時間について見てみると、小学生は「30分未満」が69.6%で最も高く、中学生でも「30分未満」が33.3%で最も高い。高校生では、「1時間以上2時間未満」が22.1%で最も高い。



【属性別集計結果】

属性別に携帯電話・スマートフォンの使用時間を見てみると、小学生は「30分未満」(男子:75.0%、女子65.6%)が男女ともに最も高い。また、中学生は男子が「30分未満」(45.5%)、女子は「2時間以上3時間未満」(27.5%)が最も高い。高校生では、男子は「2時間以上3時間未満」(24.5%)、女子は「1時間以上2時間未満」(21.9%)が最も高い。



< フィルタリング機能の認知状況(携帯電話・スマートフォン) >

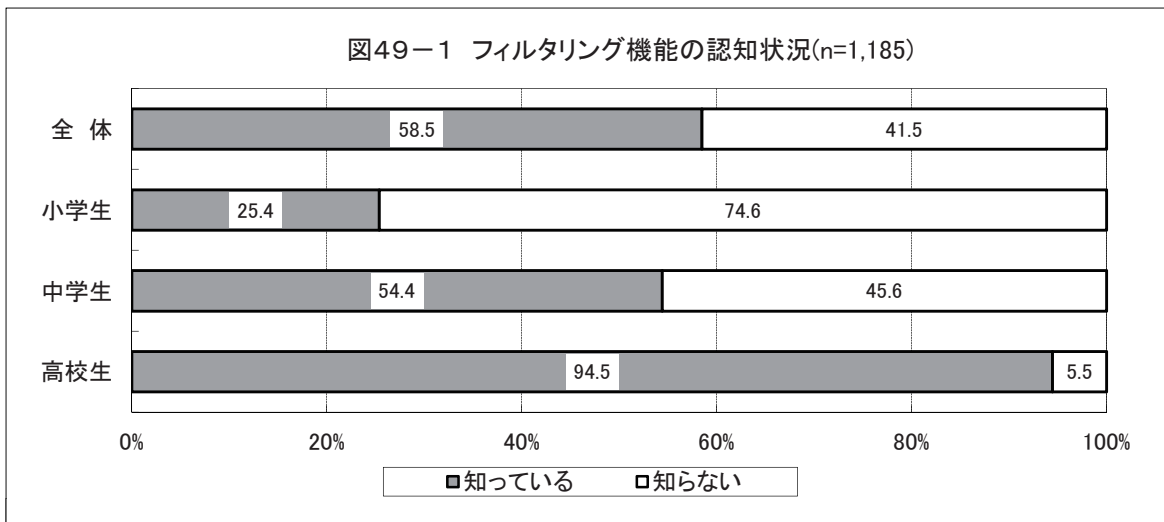
(5) あなたは、携帯電話やスマートフォンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が58.5%で「知らない」(41.5%)を17ポイント上回っている。

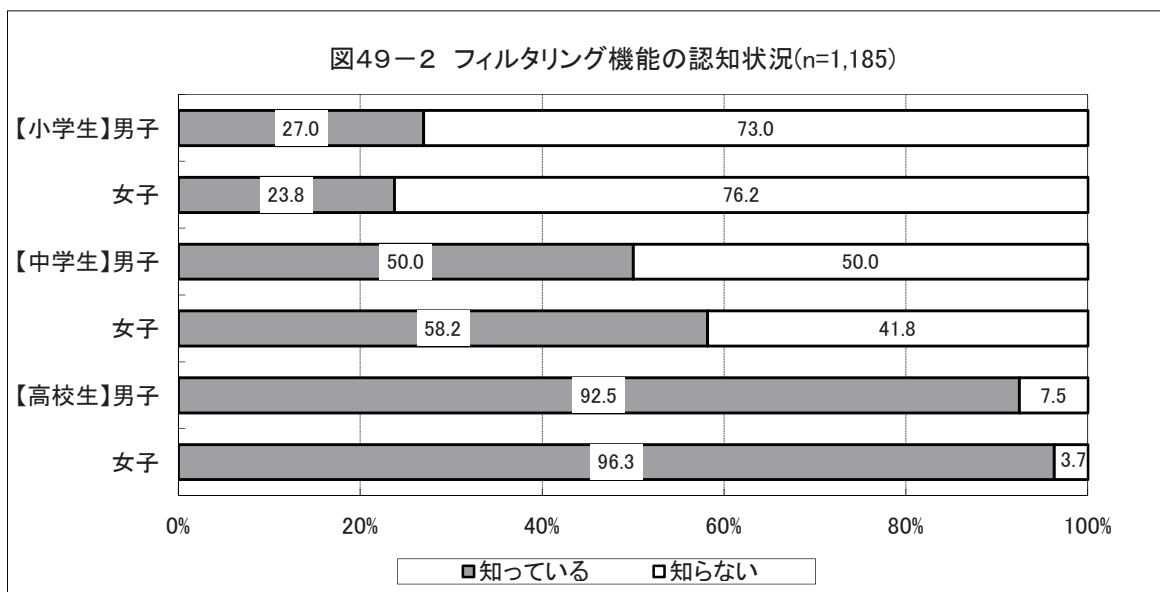
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が94.5%で最も高く、以下、中学生(54.4%)、小学生(25.4%)となっている。



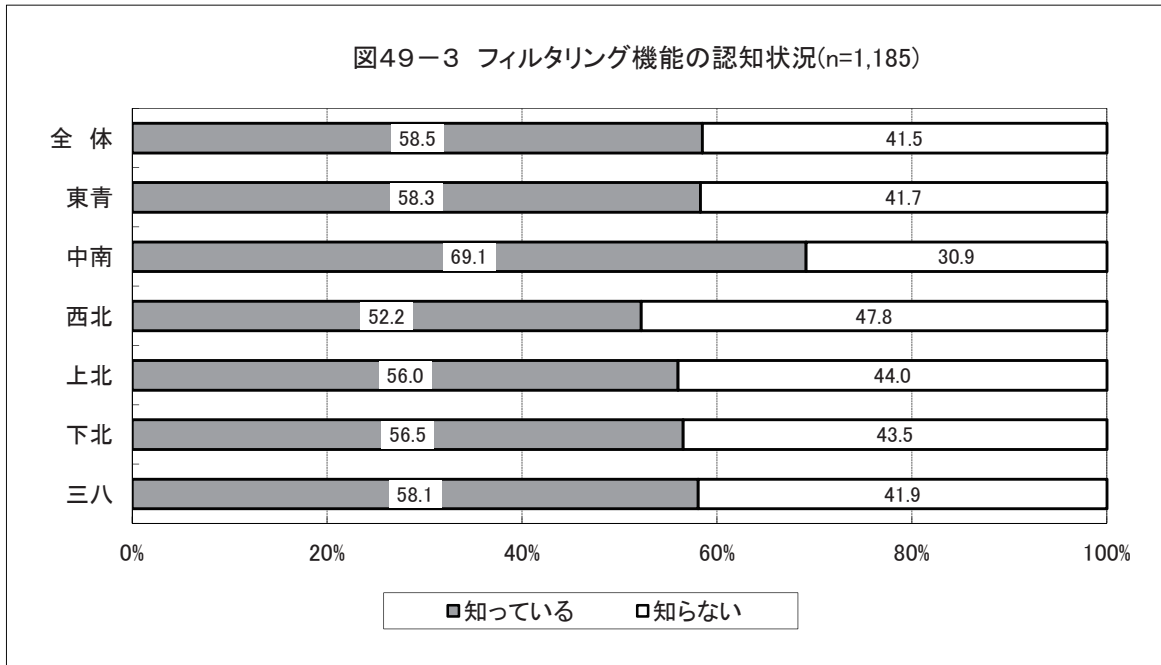
【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校生女子が96.3%で最も高く、以下、高校生男子(92.5%)、中学生女子(58.2%)となっている。また、中学生、高校生は女子のほうが男子よりも高いが、小学生は男子のほうが女子よりも高い。



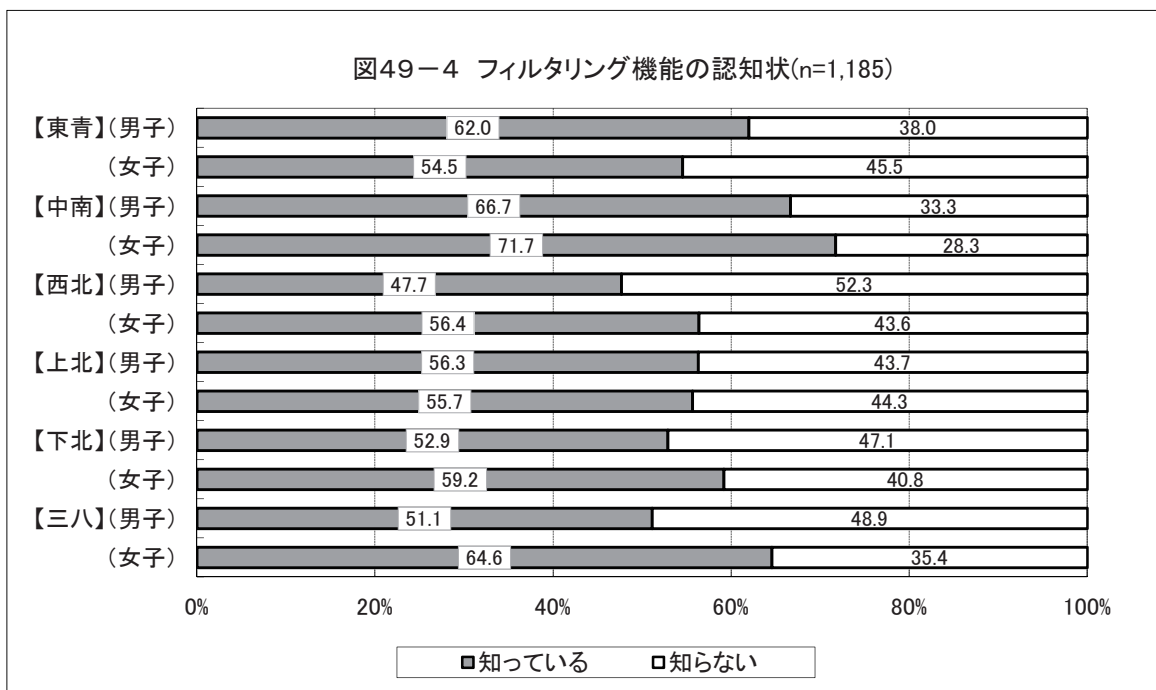
【地域別集計状況】

「知っている」を見てみると、中南地域が69.1%で最も高く、以下、東青地域(58.3%)、三八地域(58.1%)となっている。



【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、中南地域的女子が71.7%で最も高い。東青地域と上北地域では男子のほうが女子よりも割合が高いが、中南、西北、下北、三八地域では女子のほうが男子より割合が高い。



< 携帯電話のフィルタリング機能の利用状況 >

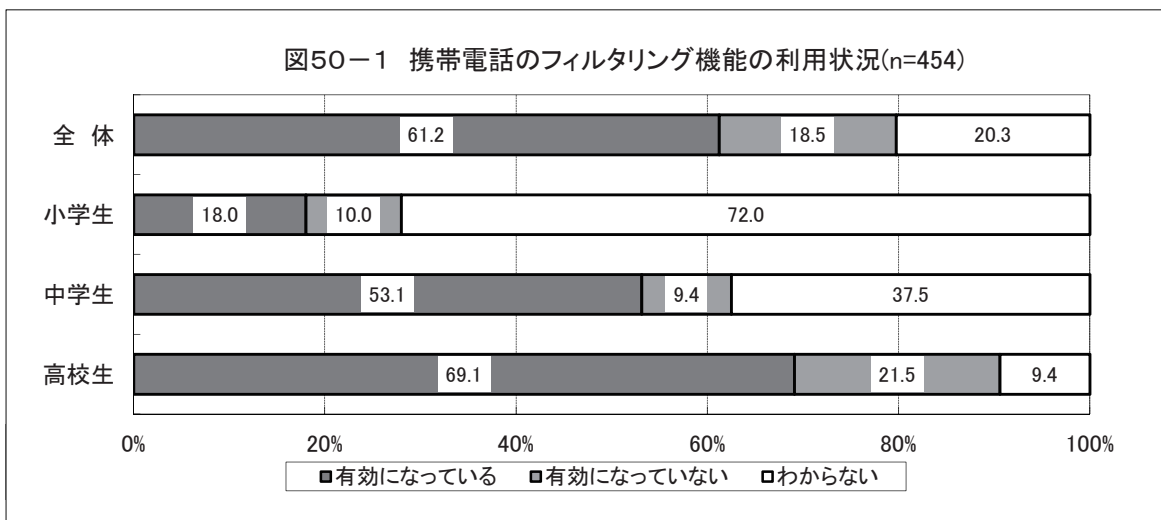
(6) 携帯電話を持っている人はお答えください。フィルタリング機能は有効になっていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

使用している携帯電話のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「有効になっている」が61.2%で最も高く、以下「わからない」(20.3%)、「有効になっていない」(18.5%)となっている。

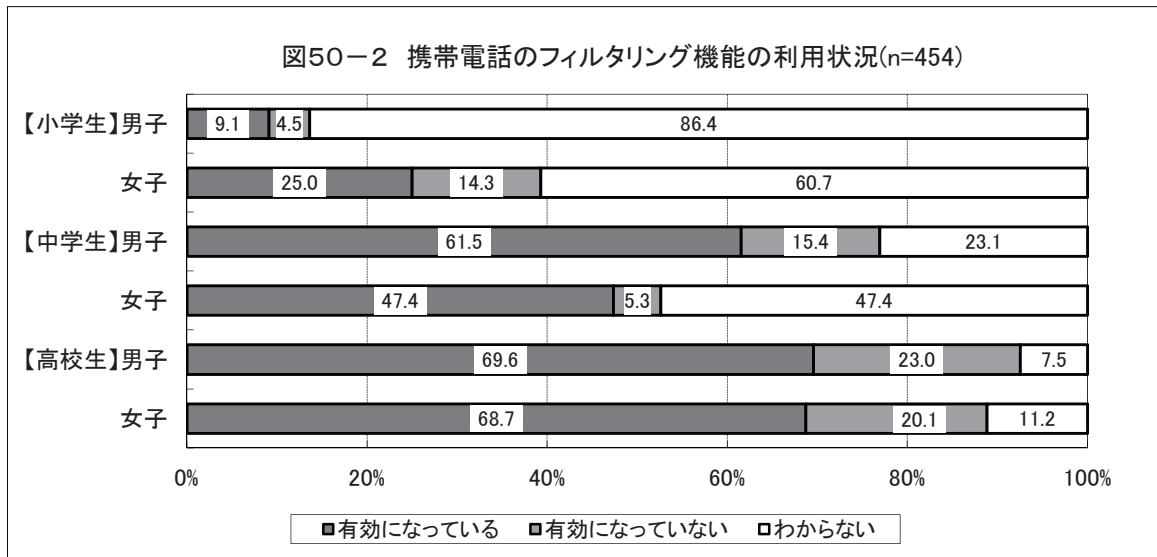
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が69.1%で最も高く、以下、中学生(53.1%)、小学生(18.0%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が21.5%で最も高く、以下、小学生(10.0%)、中学生(9.4%)となっている。また、小学生については、4分の3程度が「わからない」(72.0%)となっている。



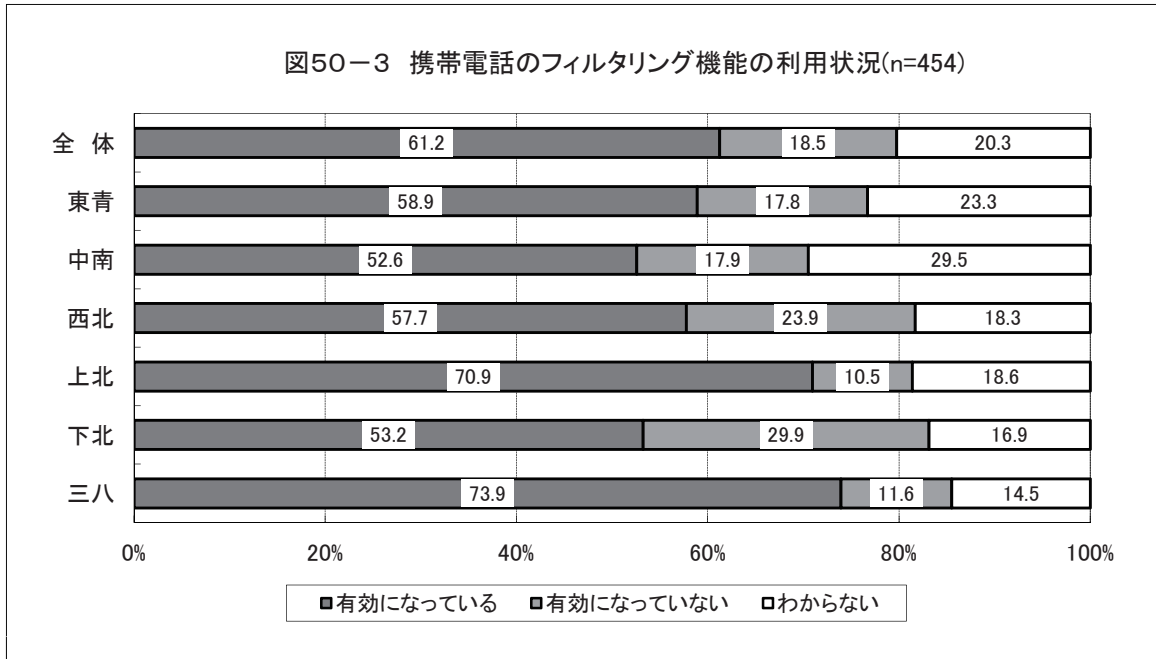
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生男子が69.6%で最も高い。また、小学生は女子のほうが男子よりも高いが、中学生、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



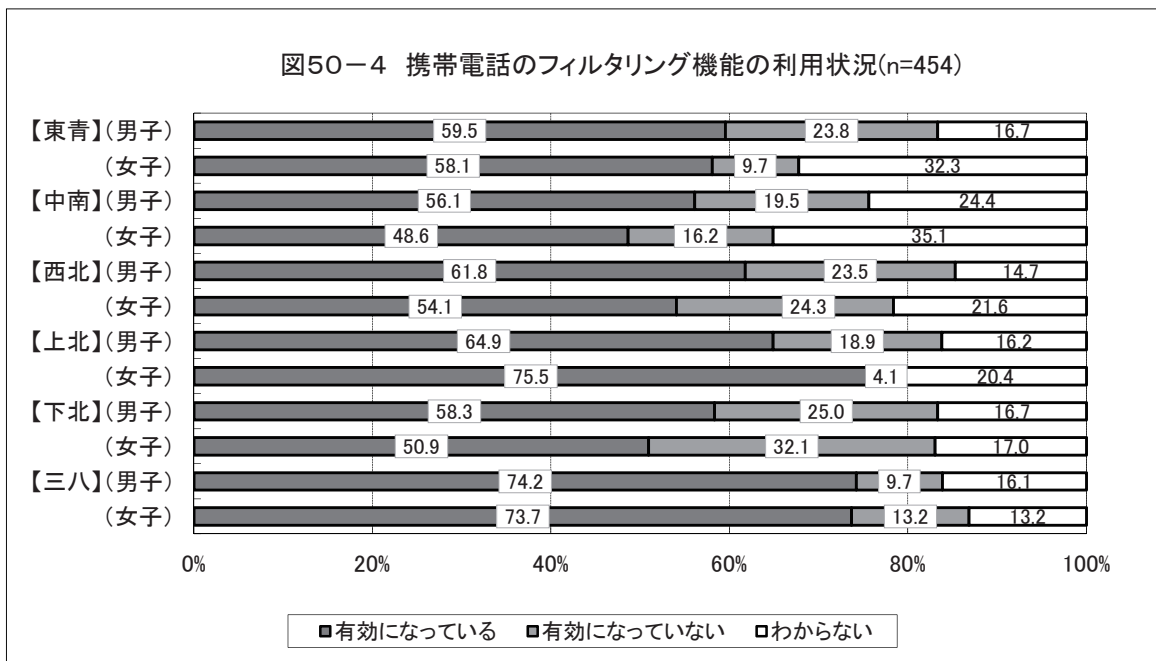
【地域別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、三八地域が73.9%で最も高く、以下、上北地域(70.9%)、東青地域(58.9%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、下北地域が29.9%で最も高く、以下、西北地域(23.9%)、中南地域(17.9%)となっている。また、中南地域については、29.5%が「わからない」となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、上北地域の女子が75.5%で最も高い。また、上北地域を除く5つの地域は、男子のほうが女子よりもポイントが高い。中南地域の女子は、「分からない」の割合が35.1%となっている。



< スマートフォンのフィルタリング機能の利用状況 >

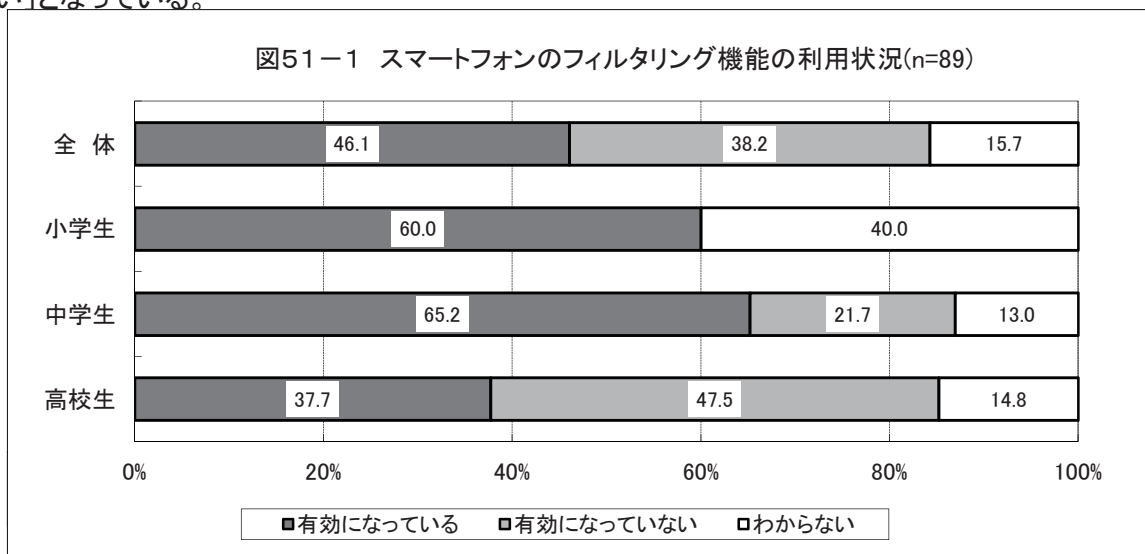
(7) スマートフォンを持っている人はお答えください。フィルタリング機能は有効になっていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

使用しているスマートフォンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「有効になっている」が46.1%で最も高く、以下「有効になっていない」(38.2%)、「わからない」(15.7%)となっている。

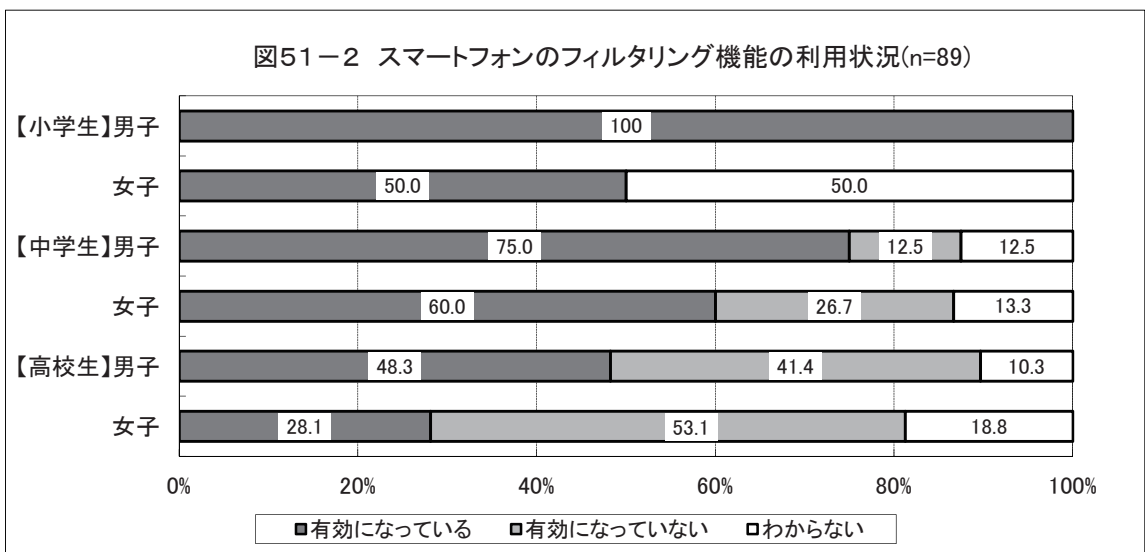
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、中学生が65.2%で最も高く、以下、小学生(60.0%)、高校生(37.7%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が47.5%で最も高く、以下、中学生(21.7%)となっている。また、小学生については40%が「わからない」となっている。



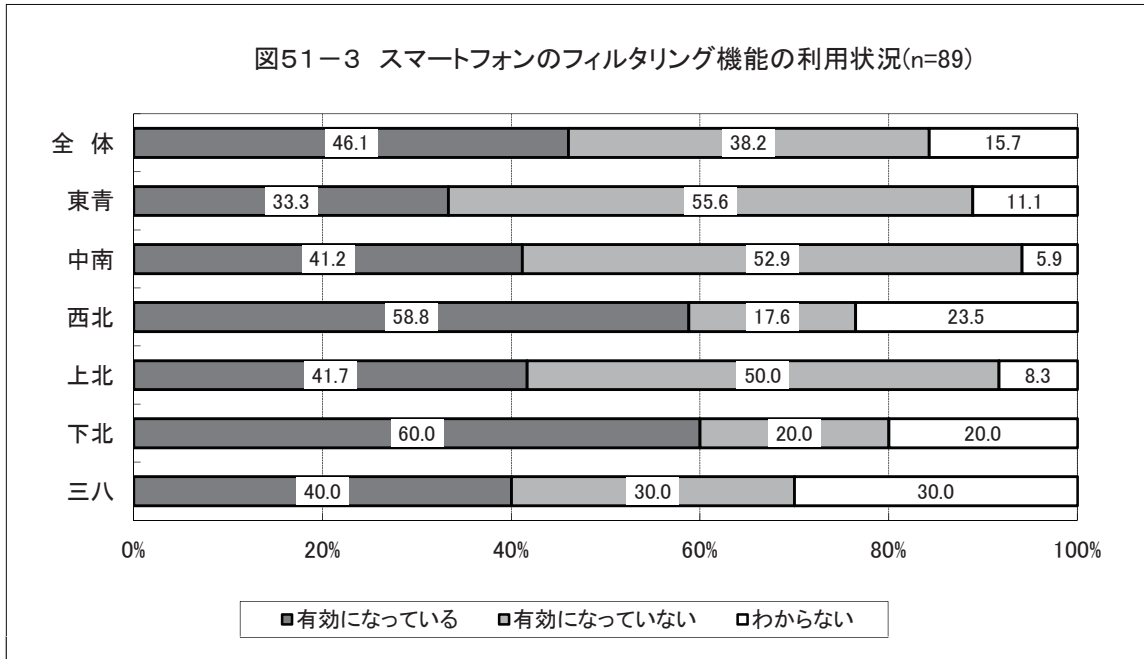
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、小学生男子が100%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりもポイントが高い。



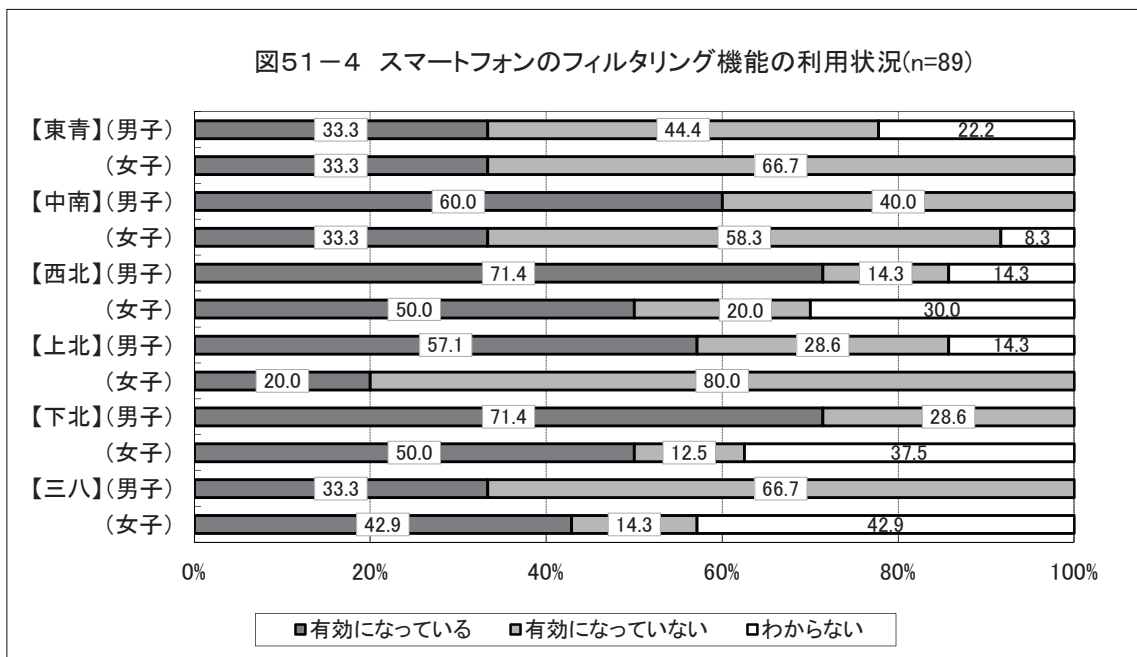
【地域別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、下北地域が60.0%で最も高く、以下、西北地域(58.8%)、上北地域(41.7%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、東青地域が55.6%で最も高く、以下、中南地域(52.9%)、上北地域(50.0%)となっている。また、三八地域については、30%が「わからない」となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、西北地域と下北地域の男子が71.4%で最も高い。また、東青、上北地域は女子のほうが男子よりも高いが、中南、西北、下北、三八地域は男子のほうが女子よりも高い。



< 自由に使えるパソコンの所有状況 >

問19 パソコンについてお聞きます。

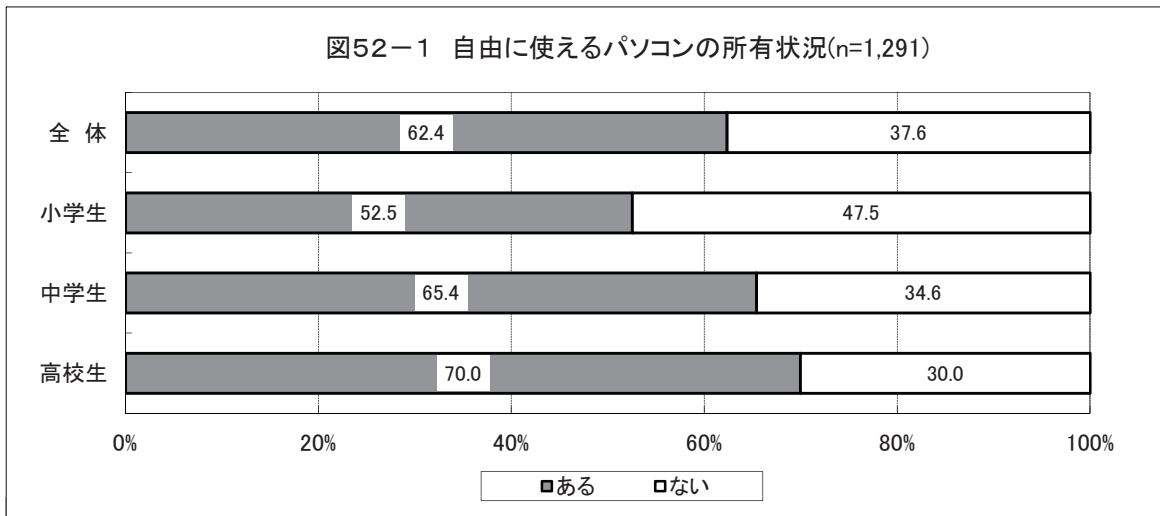
(1) あなたの家にはあなたが自由に使えるパソコンがありますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンがあるかどうかを尋ねたところ、「ある」が62.4%となっており、「ない」(37.6%)よりも24.8ポイント高い。

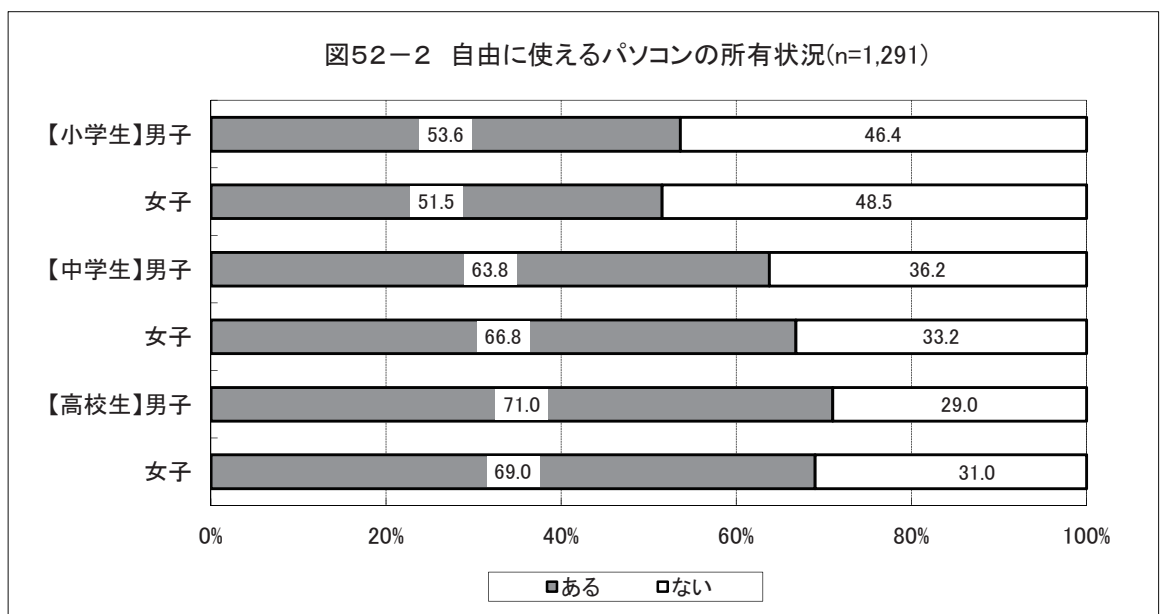
【学校種別集計結果】

自由に使えるパソコンの所有率が最も高いのは、高校生の70.0%で、以下、中学生が65.4%、小学生が52.5%となっている。



【属性別集計結果】

『自由に使えるパソコン』の所有率が最も高いのは、高校生男子で71.0%となっており、以下、高校生女子(69.0%)、中学生女子(66.8%)などとなっている。



< 自由に使えるパソコンの使用目的 >

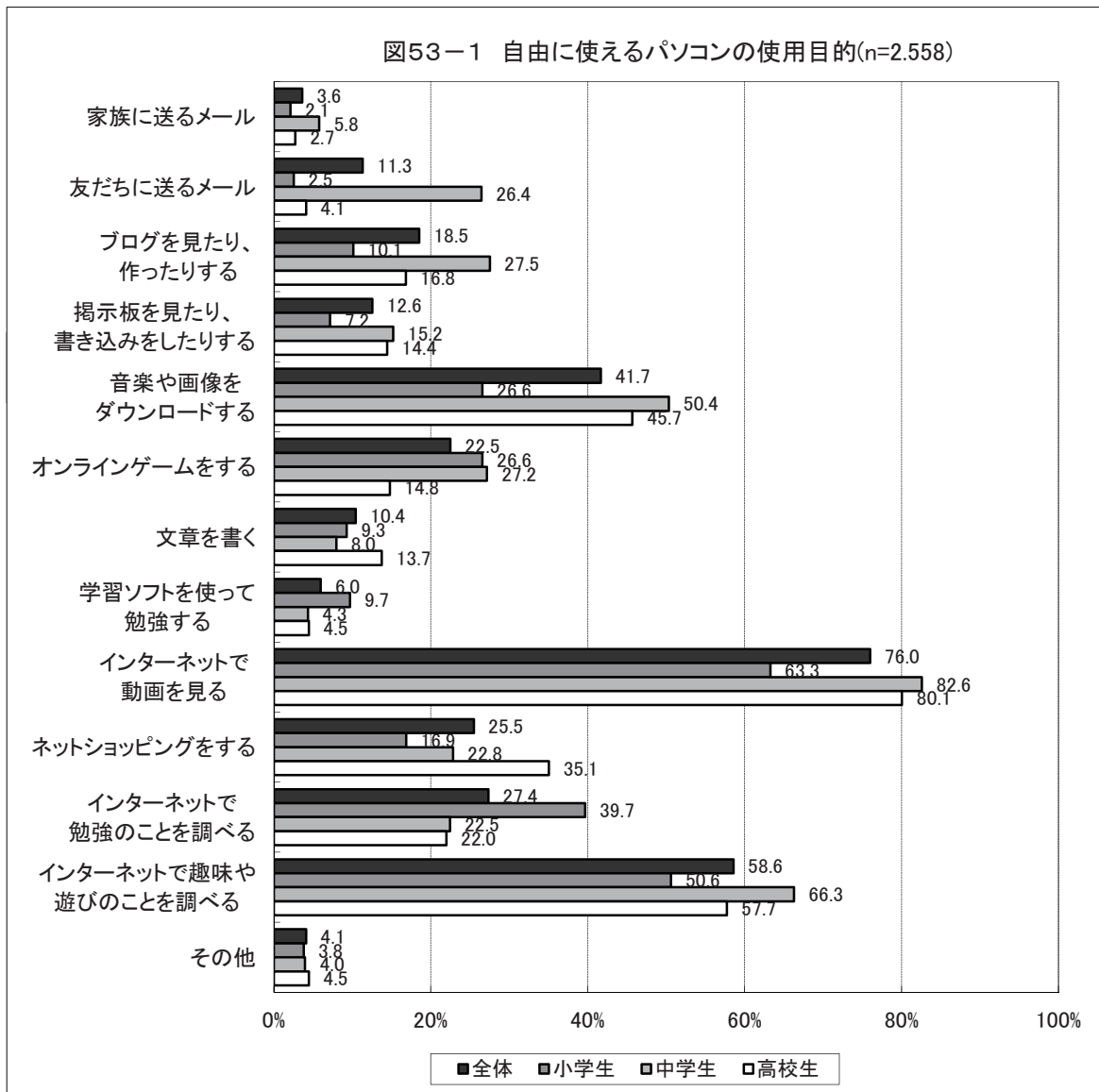
(2) (1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人はお答えください。
 あなたは、パソコンをどのような目的で使うことが多いですか。
 あてはまるものを、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用目的を尋ねたところ、「インターネットで動画を見る」が76.0%で最も高く、以下、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(58.6%)、「音楽や画像のダウンロード」(41.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「インターネットで動画を見る」(小学生:63.3%、中学生:82.6%、高校生:80.1%)、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(小学生:50.6%、中学生:66.3%、高校生:57.7%)が上位を占めている。
 以下、小学生は「インターネットで勉強のことを調べる」(39.7%)、中学生、高校生は「音楽や画像のダウンロード」(中学生:50.4%高校生:45.7%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学生男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(62.2%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(51.3%)
- 「インターネットで勉強のことを調べる」(39.5%)

〈小学生女子〉

- 「インターネットで動画を見る」(64.4%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(50.0%)
- 「インターネットで勉強のことを調べる」(39.8%)

〈中学生男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(83.2%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(67.2%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(48.0%)

〈中学生女子〉

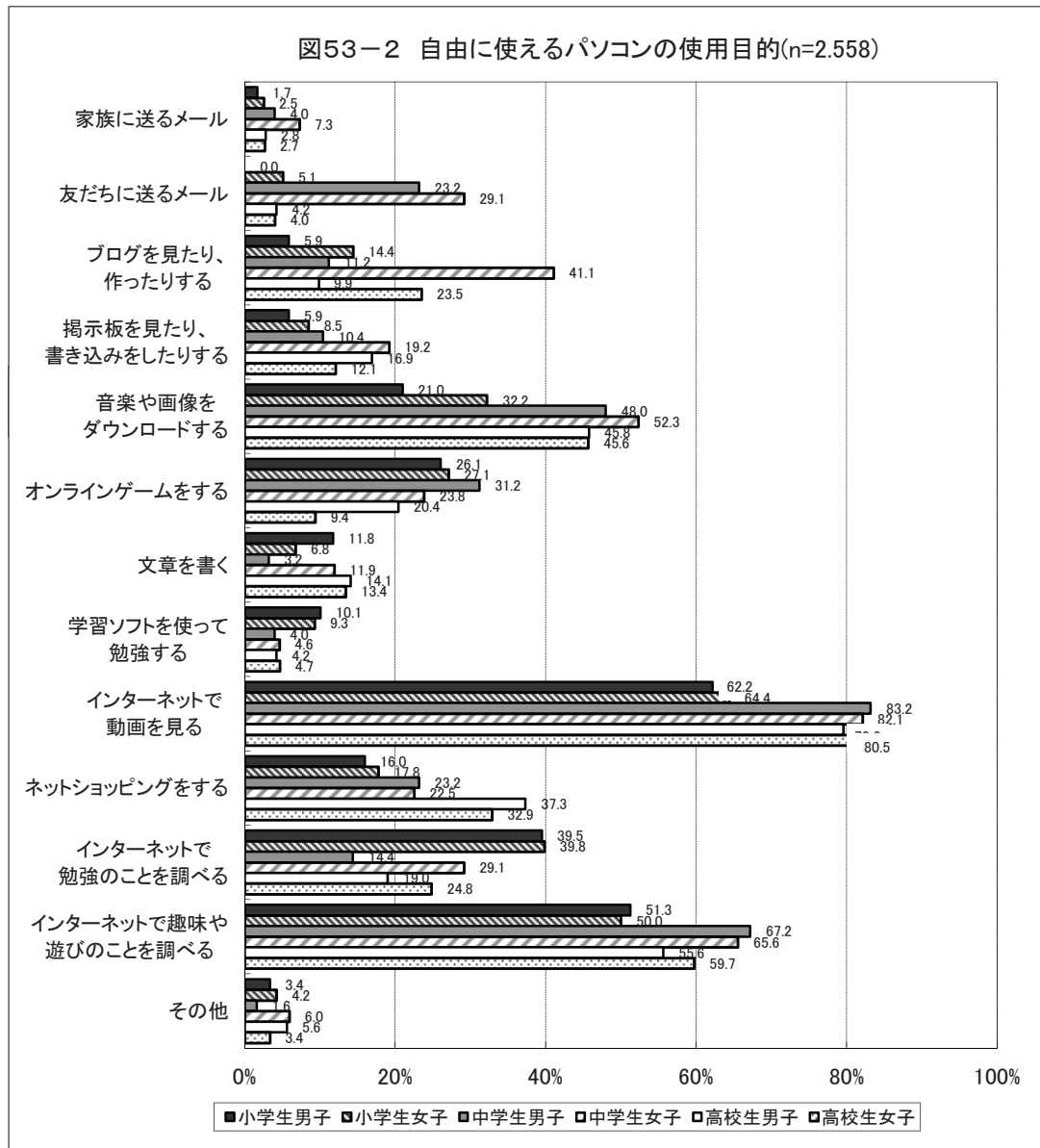
- 「インターネットで動画を見る」(82.1%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(65.6%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(52.3%)

〈高校生男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(79.6%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(55.6%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(45.8%)

〈高校生女子〉

- 「インターネットで動画を見る」(80.5%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(59.7%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(45.6%)



< 自由に使えるパソコンの使用時間 >

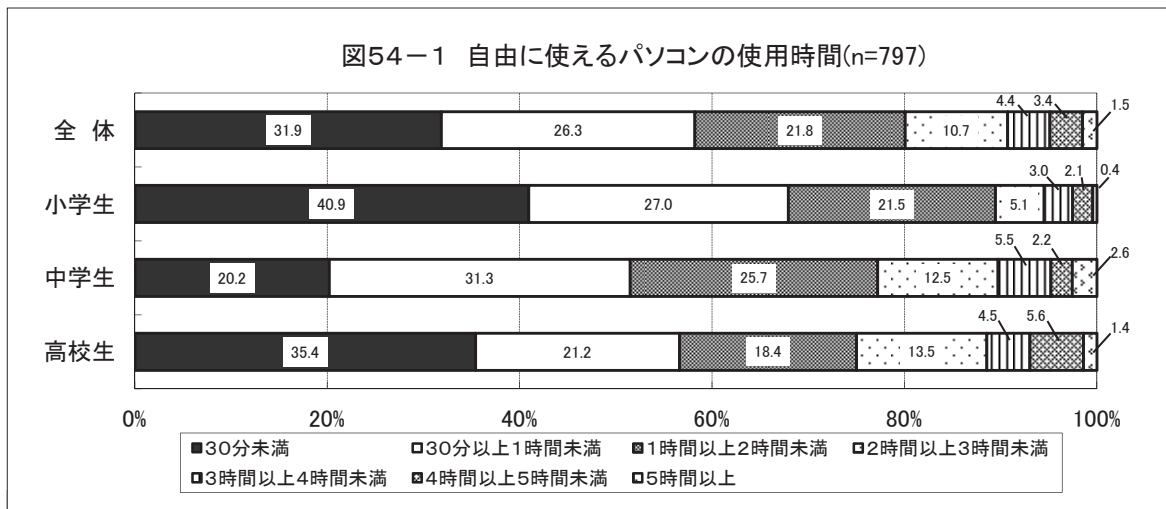
(3) (1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人へお答えください。
あなたは、パソコンを一日にどのくらい使用していますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用時間を尋ねたところ、「30分未満」が31.9%で最も高く、以下、「30分以上1時間未満」(26.3%)、「1時間以上2時間未満」(21.8%)などとなっている。

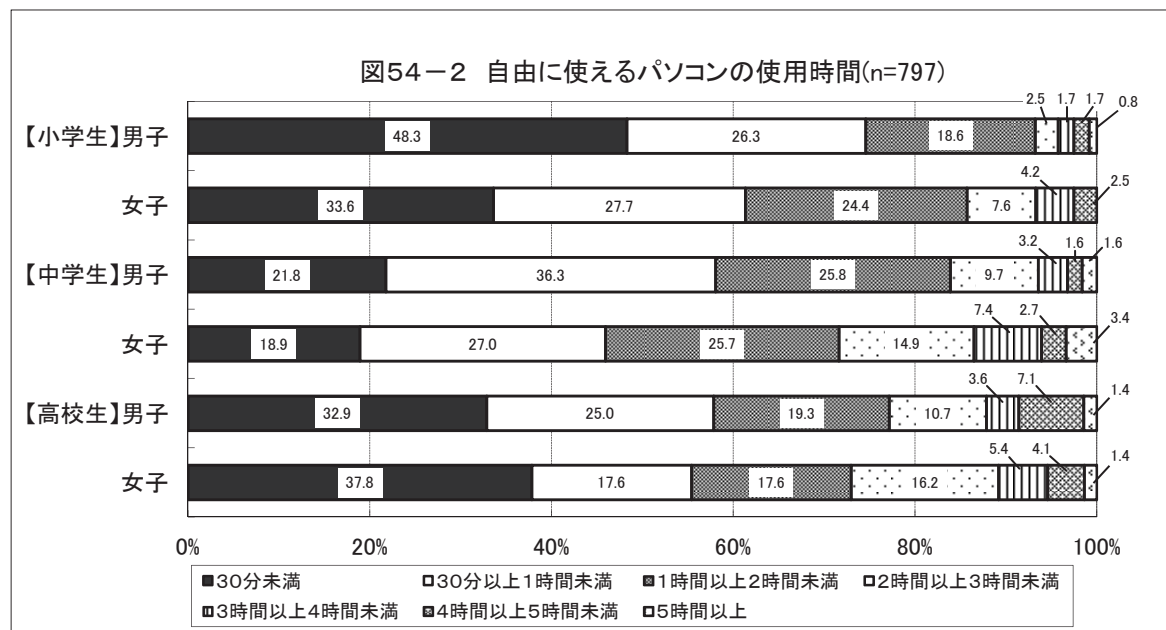
【学校種別集計結果】

小学生、高校生は、「30分未満」(小学生:40.9%、高校生:35.4%)、中学生は、「30分以上1時間未満」(31.3%)の割合が最も高い。



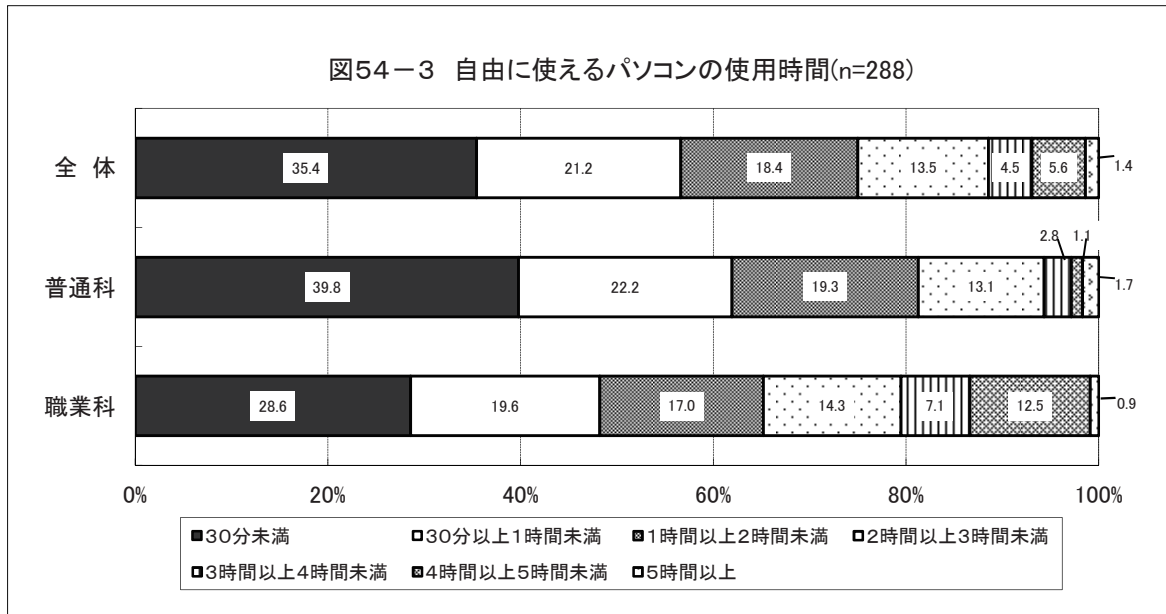
【属性別集計結果】

使用時間について、小学生男女、高校生男女が「30分未満」が最も高いのに対して、中学生は男女ともに「30分以上1時間未満」の割合が最も高い。



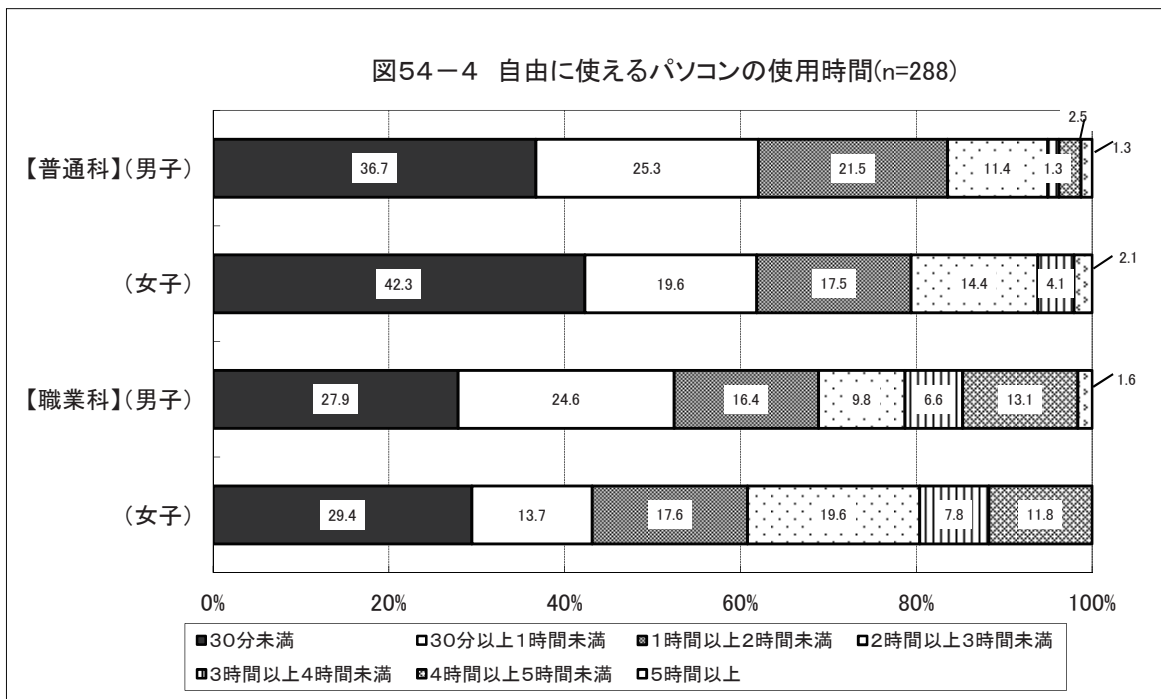
【学科別集計結果】

普通科、職業科のいずれも、「30分未満」(普通科:39.8%、職業科:28.6%)、「30分以上1時間未満」(普通科:22.2%、職業科:19.6%)、「1時間以上2時間未満」(普通科:19.3%、職業科:17.0%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

使用時間について、普通科の男女においては「30分未満」の割合が高いのに対して、職業科においては「4時間以上5時間未満」の割合が高い。



< フィルタリング機能の認知状況(パソコン) >

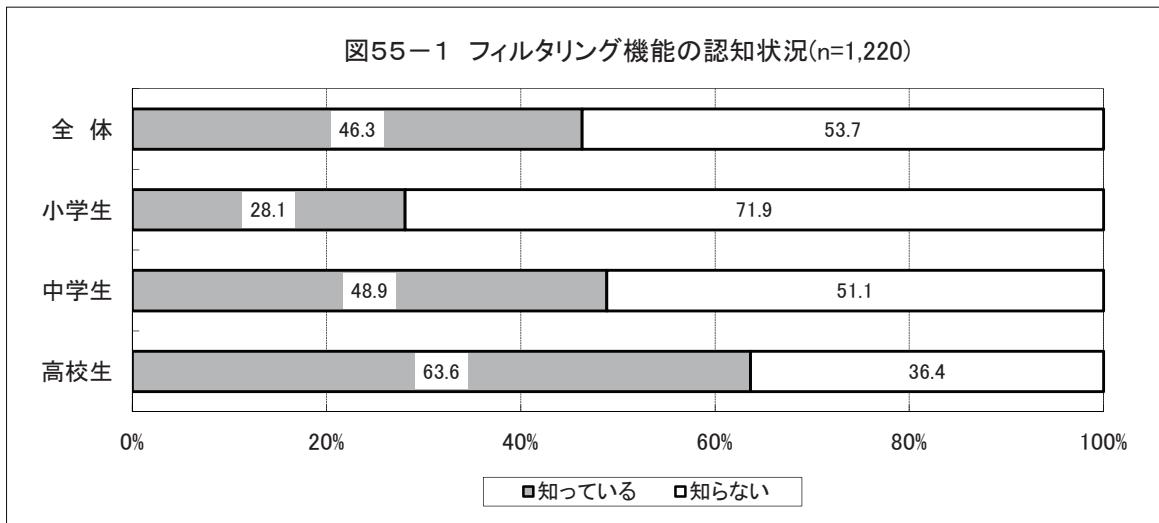
(4) あなたは、パソコンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知らない」が53.7%で「知っている」(46.3%)を7.4ポイント上回っている。

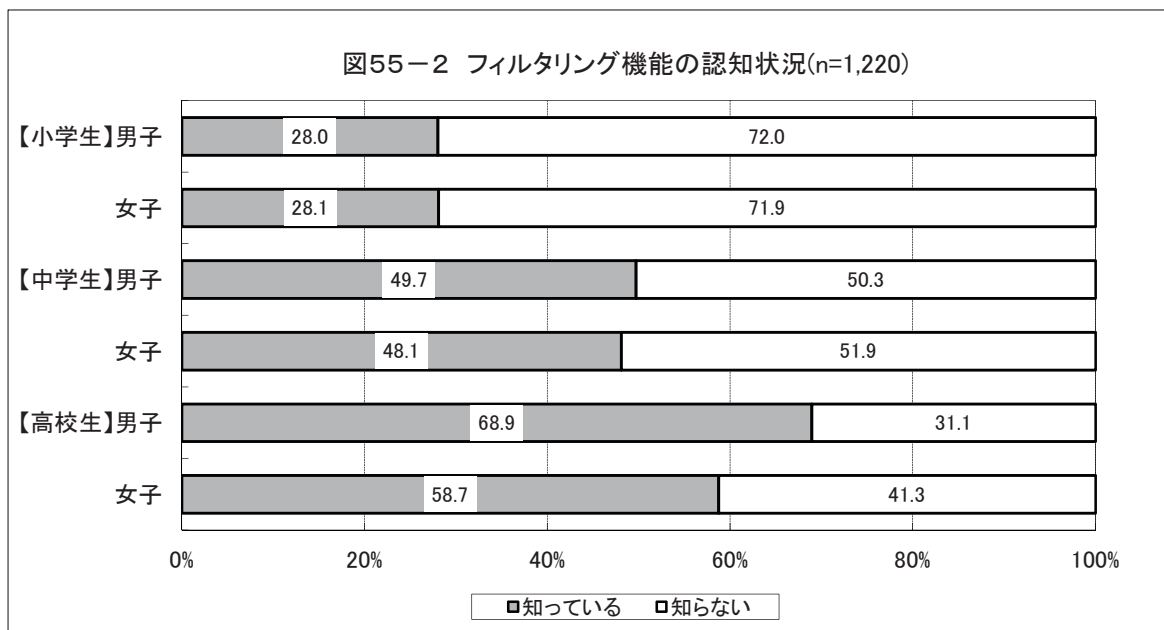
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が63.6%で最も高く、以下、中学生(48.9%)、小学生(28.1%)となっている。



【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校生男子が68.9%で最も高く、以下、高校生女子(58.7%)、中学生男子(49.7%)となっている。また、小学生、中学生は男女の差がほとんど見られないが、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



＜ パソコンのフィルタリング機能の利用状況 ＞

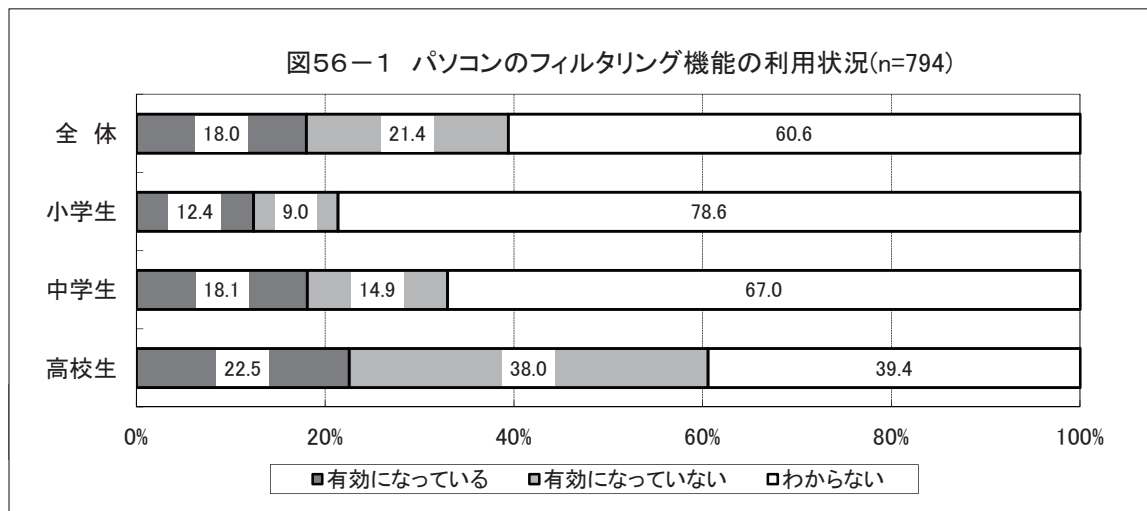
(5) (1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人はお答えください。
 あなたが使用しているパソコンは、フィルタリング機能が有効になっていますか。
 1つ選んでください。

【全体集計結果】

使用しているパソコンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が60.6%で最も高く、以下「有効になっていない」(21.4%)、「有効になっている」(18.0%)となっている。

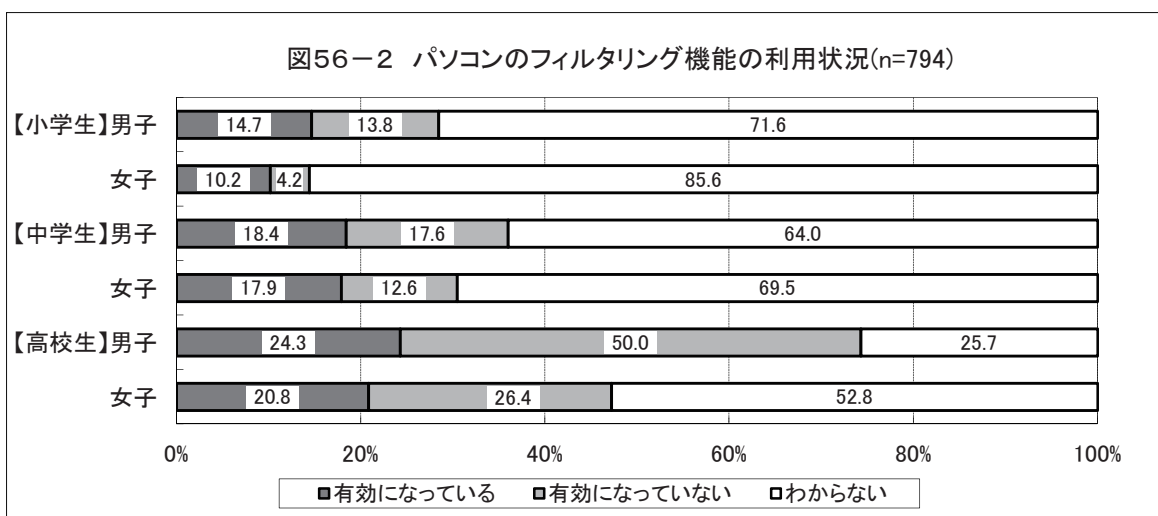
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が22.5%で最も高く、以下、中学生(18.1%)、小学生(12.4%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が38.0%で最も高く、以下、中学生(14.9%)、小学生(9.0%)となっている。また、小学生については、8割近くが「わからない」(78.6%)となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生男子が24.3%で最も高い。また、小学生、高校生は男子のほうが女子よりも高いが、中学生は男女の差がほとんど見られない。



< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 >

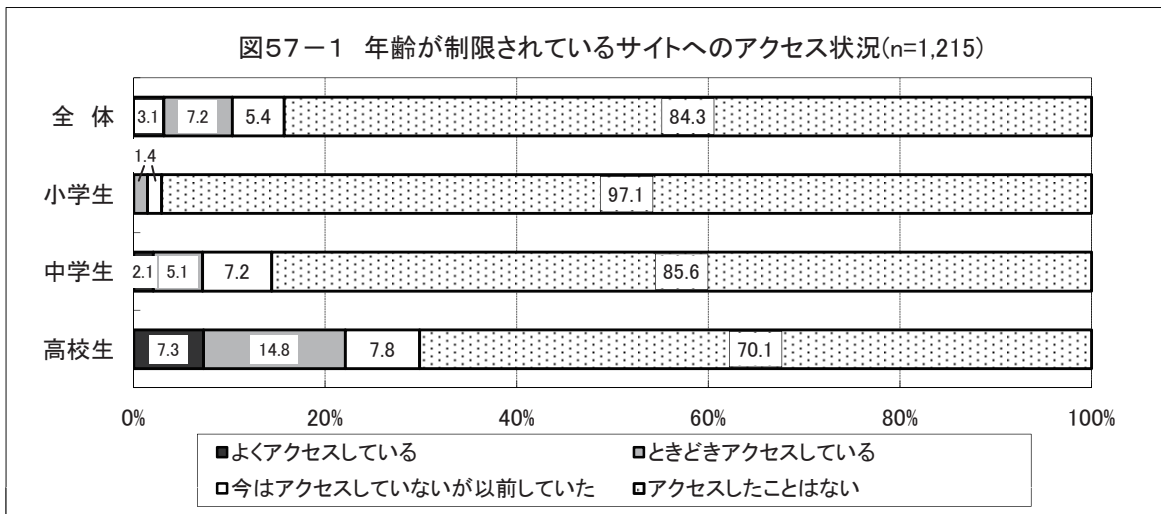
問20(1) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使って、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が84.3%で最も高い。

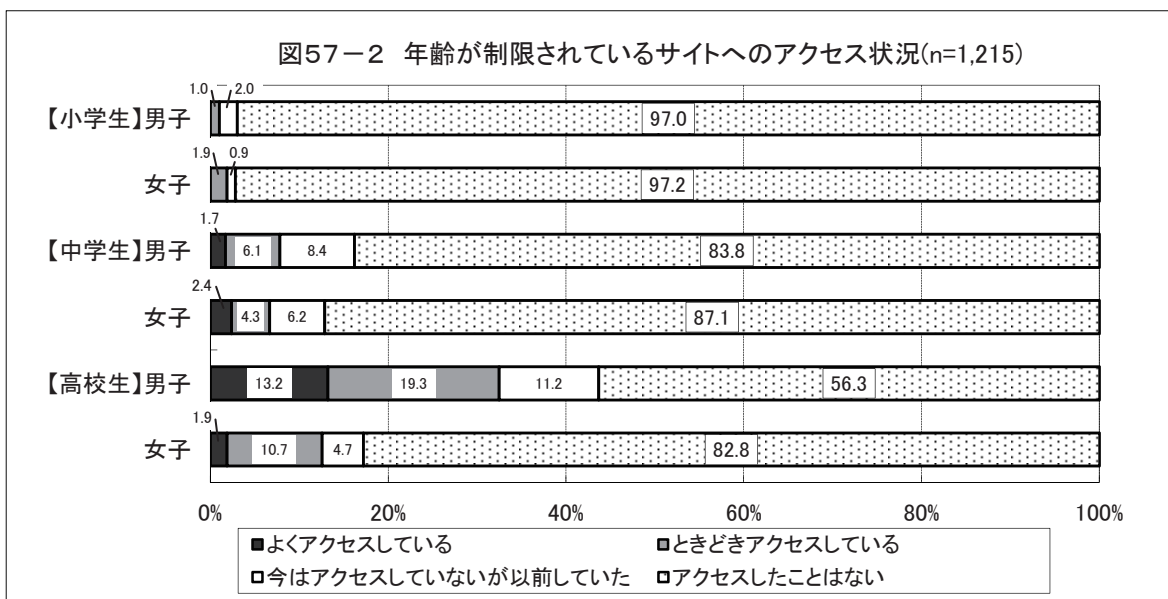
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が22.1%で最も高く、以下、中学生(7.2%)、小学生(1.4%)となっている。



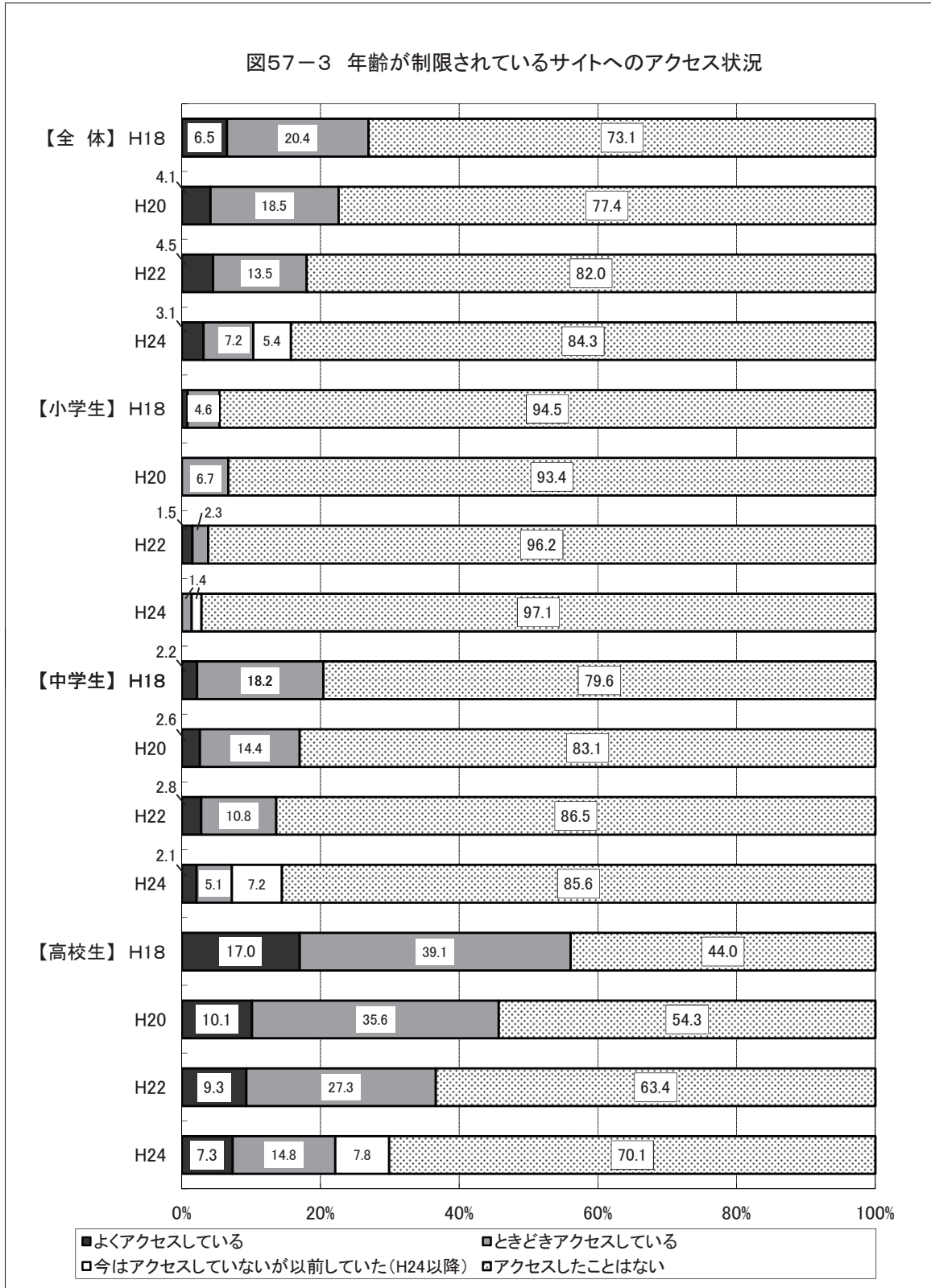
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生男子が32.5%で最も高い。また、中学生、高校生については男子のほうが女子よりも高い。小学生については女子のほうが男子よりも高い。



【時系列比較(平成18年度・20年度・22年度調査と24年度調査との調査比較)】

『アクセスしたことがある』を見てみると、全体では平成22年度を7.7ポイント下回っている。学校種別に見てみると、小学生では2.4ポイント、中学生では6.4ポイント、高校生では14.5ポイント下回っている。



< 「学校裏サイト」へのアクセス状況 >

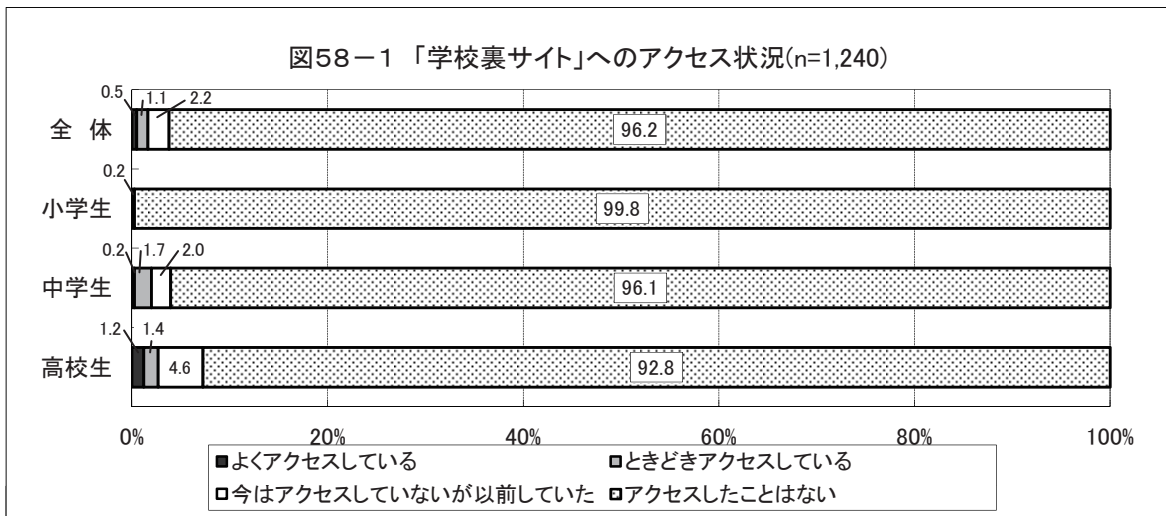
問20(2) あなたは、いわゆる「学校裏サイト」と言われるサイトにアクセスしたことがありますか。

【全体集計結果】

「学校裏サイト」にアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が96.2%と最も高い。

【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が2.6%で最も高く、以下、中学生(1.9%)、小学生(0.2%)となっている。



【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生男子が3.5%で最も高い。また、小学生、中学校では女子のほうが男子よりも高いが、高校生では男子のほうが女子よりも高い。

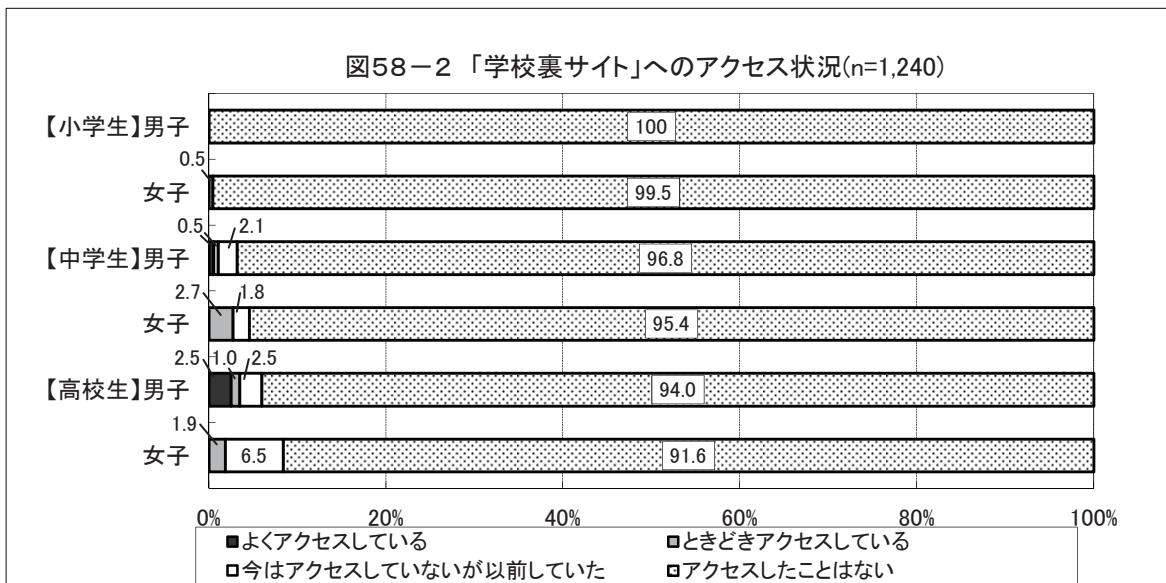


図58-3 「学校裏サイト」へのアクセス状況

